

下瀬美術館年報  
2024年度



## はじめに

下瀬美術館は、2023年3月1日に開館いたしました。

当館は、丸井産業株式会社が2018年の創業60周年を契機として、これまで広島地域や産業・経済界などから受けてきた恩顧に感謝し、公共の福祉に貢献するために計画した美術館です。

当館のコレクションは、丸井産業株式会社の会長である下瀬ゆみ子が先代の創業者・下瀬福衛と下瀬静子から受け継ぎながら半世紀以上をかけて少しずつ形成してきたものです。それは、子どもの成長と平和な世の中を祈って収集された京都の大木平藏(丸平大木人形店)の雛人形や雛道具、御所人形から始まり、その後、日本近代や西洋の絵画、工芸へと広げられてきました。

施設の建築は、広島在住の皆さまや全国および海外からの観光客が気軽に鑑賞し、学び、美術に親しく交わっていただく場として、世界で評価された建築家・坂茂氏が設計しました。枝を広げた大木のような柱が印象的なエントランス棟や、水盤の上に並ぶ8つのカラフルなキューブ状の可動展示室など、瀬戸内海を望む広大な敷地に世界に類を見ない建築が実現しています。瀬戸内の多島美を一望できる屋上の「望洋テラス」や、作品のモチーフに会うことのできる「エミール・ガレの庭」といった、四季折々の自然を楽しんでいただける施設も併設しています。

昨年末にはユネスコ創設の建築賞「ベルサイユ賞」で最優秀賞を受賞する荣誉にあずかり、国内外の多くの方々から当館を知っていただくきっかけとなりました。

ここに2024年度の活動報告をまとめましたので、ご高覧いただければ幸いです。

一般財団法人下瀬美術館

# 目次

はじめに	2
2024年度主要記事	5
展覧会一覧	7
<b>I 展覧会事業</b>	
開館一周年記念 加山又造	8
エミール・ガレ没後120年 ガレのある部屋	12
マイセン磁器	20
ちいさきかわいいものたち	25
<b>II 教育普及事業</b>	
刊行物	30
講演会・ギャラリートーク	30
ワークショップ	31
鑑賞サポートプログラム	32
スクールプログラム	37
職場体験	38
<b>III 作品の貸出</b>	40
<b>IV 施設</b>	41
<b>V 管理規定</b>	44
<b>VI 利用案内</b>	48



## 2024年度主要記事

日時	記事
2024年	
4月14日	「開館一周年記念 加山又造 ー革新をもとめて」を開催。(6月30日まで)
5月30日	下瀬美術館、入場10万人目のセレモニーを行う。
6月14日	下瀬美術館、建築賞「ベルサイユ賞」の「世界で最も美しい美術館」7施設にノミネート。
7月7日	「エミール・ガレ没後120年 ガレのある部屋 ージャポニスムからアールヌーヴォーへ」を開催。(11月24日まで)
8月21日	「エミール・ガレ没後120年 ガレのある部屋 ージャポニスムからアールヌーヴォーへ」入場1万人目のセレモニーを行う。
10月21日	消防訓練実施。
10月30日	「エミール・ガレ没後120年 ガレのある部屋 ージャポニスムからアールヌーヴォーへ」入場3万人目のセレモニーを行う。
12月1日	「マイセン磁器 ー恋する表情」を開催。(2月16日まで)
12月2日	下瀬美術館、建築賞「ベルサイユ賞」を受賞
12月26日	「マイセン磁器 ー恋する表情」入場1万人目のセレモニーを行う。
2025年	
2月23日	「ちいさきかわいいものたち ーひな飾りと御所人形」を開催。(4月13日まで)
3月3日	下瀬美術館、「せとうちDMOアワード」アート部門を受賞
3月18日	「ちいさきかわいいものたち ーひな飾りと御所人形」入場1万人目のセレモニーを行う。

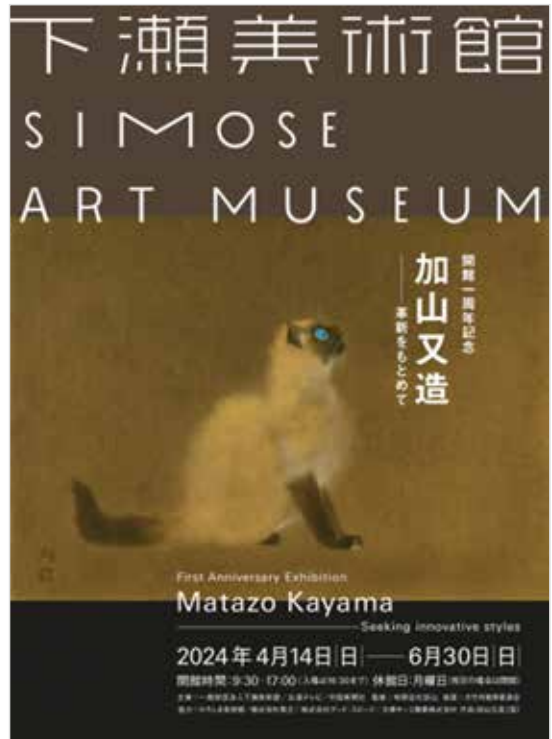


## 展覧会一覧

	展覧会名	会期
1	開館一周年記念 加山又造 —革新をもとめて	2024年4月14日(日)–6月30日(日)
2	エミール・ガレ没後120年 ガレのある部屋 —ジャポニスムからアールヌーヴォーへ	7月7日(日)–11月24日(日)
3	マイセン磁器 —恋する表情	12月1日(日)–2025年2月16日(日)
4	ちいさきかわいいものたち —ひな飾りと御所人形	2月23日(日)–4月13日(日)

## I

開館一周年記念 加山又造  
—革新をもとめて



会期	2024年4月14日(日)–6月30日(日) 69日間
主催	一般財団法人下瀬美術館／広島テレビ／中国新聞社
監修	有限会社加山
後援	大竹市教育委員会
協力	ひろしま美術館／株式会社風土／株式会社グッドスピード／大塚オーミ陶業株式会社

**概要** 昭和から平成の時代に日本画の旗手として目覚ましい活躍をした加山又造(1927-2004)。第二次大戦後の厳しい社会情勢の中、日本画壇の前近代的な体質への批判から「日本画滅亡論」が声高に唱えられていた。こうしたなかで加山又造は「世界性に立脚する日本絵画の創造を期す」とした創造美術展に出展し、そのキャリアをスタートさせた。加山は、ラスコーの洞窟壁画やブリューゲル、キュビズム、シュルレアリスムなど西洋絵画の造形手法を取り入れて革新的な作品を発表し、約10年ごとに作風を変える新規性はその度に注目を集めた。その活躍は多彩で、日本画はもちろん、版画の制作や工芸家との共同制作にも積極的だった。

本展では、加山が初期に発表した動物シリーズを始め、人気を博した猫の作品、師の山本丘人の影響の見られる山岳風景、日本の伝統的絵画表現による梅や桜の作品、そして近世の日本絵画、北宋画を参照して生み出した新しい水墨画に加え、工芸家と共同で制作した陶芸や着物などを紹介し、多様な造形の軌跡を追った。

印刷物	チラシ(A4) 20,000枚 ポスター(B2) 500枚 展示目録(A3 2つ折り2枚、8頁) 8,000部
観覧者数	17,056人 *1日平均287人

## 関連事業

### ①特別ギャラリートーク

講師 加山由起(有限会社加山)  
会場 企画展示室  
日時 4月4日(日) 11:00~12:00  
5月26日(日) 11:00~12:00  
参加費 無料  
参加者 4月4日\_35人、5月26日\_40人

### ②ギャラリートーク

会場 企画展示室  
日時 毎月第1、第3土曜日 14:00~14:30  
参加者 4月27日\_14人、  
5月18日\_30人、  
6月15日\_32人



### ③ナイトミュージアム

実施日 会期中の金曜日、土曜日(5/3、5/4を除く)  
観覧者数(再入館を含む)  
4月19日\_約30人、4月20日\_約30人、4月26日\_33人、  
4月27日\_95人  
5月10日\_29人、5月11日\_122人、5月17日\_40人、  
5月18日\_168人、5月24日\_75人、5月25日\_173人、  
5月31日\_6人  
6月1日\_42人、6月7日\_12人、6月8日\_27人、  
6月14日\_27人、6月15日\_46人、6月21日\_44人、  
6月22日\_33人、6月28日\_34人、6月29日\_135人

掲載記事 中国新聞(3/10、3/14、3/27、3/30、4/10、4/12、  
4/13、4/19、4/25、4/27、5/1、5/3、5/24、5/30、5/31、  
6/4、6/5、6/6、6/7、6/8、6/11、6/14、6/15、6/18)  
Tj Hiroshima 月刊タウン情報ひろしま(3月号)／  
美術手帖(4月号)／月刊美術(5月号)／  
まっふる広島・宮島'25／  
TJ Hiroshima 月刊タウン情報ひろしま(5月号)／  
月刊のむシリカ(5月号)／KURE:BAN(5月号)／  
日本歴史(5月号)／Wink(6月号)／月刊美術(6月号)／  
パレット2024 spring／博物館研究2024 No.5／  
広報おたけ(7月号)

テレビ報道等 TSS：ひろしま満点ママ(5/23)  
NHK：お好みワイド広島(5/24)  
FMはつかいち：昼なんじゃけん！761(5/28)  
HTV：Who is MATAZO  
-6つのキーワードで紐解く美の探求者(6/2)

## [展示目録] 開館一周年記念 加山又造—革新をもとめて

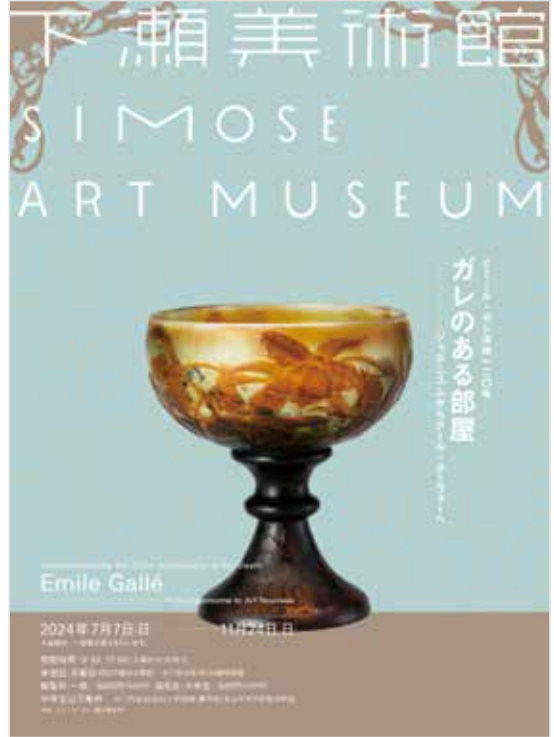
No.	作家名	生没年	作品名	制作年	材質技法	備考
<b>企画展示室 第I章_動物・自然</b>						
I-01	加山又造	1927-2004	若い白い馬	1950年頃	紙本着色	個人蔵
I-02	加山又造	1927-2004	迷える鹿	1954年	紙本着色	個人蔵
I-03	加山又造	1927-2004	鶉	1960年代か	絹本裏箔着色	
I-04	加山又造	1927-2004	蛾	1960年代か	紙本金泥着色	
I-05	加山又造	1927-2004	昆虫	1965年	紙本着色	
I-06	加山又造	1927-2004	猫	1960年	紙本着色	個人蔵
I-07	加山又造	1927-2004	凝	1980年代頃	紙本着色	
I-08	加山又造	1927-2004	風	1982年	紙本着色	
I-09	加山又造	1927-2004	音	1982年	紙本着色	
I-10	加山又造	1927-2004	春雪	1965年	紙本着色	
I-11	加山又造	1927-2004	月明り	1995年	紙本着色	
I-12	加山又造	1927-2004	雪煙ノ嶺	1985年	紙本着色	
<b>企画展示室 第II章_水墨画</b>						
II-01	加山又造	1927-2004	做北宋水墨山水	1988年	絹本墨画	ひろしま美術館蔵
II-02	加山又造	1927-2004	做北宋寒林雪山	1992年	絹本墨画	個人蔵
<b>企画展示室 第III章_工芸</b>						
III-01	加山又造	1927-2004	金摺箔白梅文訪問着写	1985年	布	
III-02	加山又造	1927-2005	繪子色地猫薊文刺繍訪問着写し	1985年頃	布	
<b>可動展示室 第1室_加山又造の陶器</b>						
k1-01	加山又造・金重素山	1927-2004、 1909-1995	金銀彩篇文鉢	1985年頃	陶	
k1-02	加山又造・金重素山	1927-2004、 1909-1995	金銀彩撫子文茶碗	1985年	陶	個人蔵
k1-03	加山又造・金重素山	1927-2004、 1909-1995	梅花文釘彫皿	1985年	陶	個人蔵
k1-04	加山又造・ 大樋長左衛門	1927-2004、 1927-2023	あめ釉烏文平茶盃	1990年	陶	個人蔵
k1-05	加山又造・ 大樋長左衛門	1927-2004、 1927-2023	織部からす文茶盃	1990年	陶	個人蔵
k1-06	加山又造・番浦史郎	1927-2004、 1941-2001	金彩鶴文蓋鉢	1980年頃	陶	個人蔵
<b>可動展示室 第2室_蒼い日輪(映像)</b>						
<b>可動展示室 第3室_蒼い日輪</b>						
k3-01	加山又造	1927-2004	蒼い日輪	1959年	顔料、カンヴァス	
<b>可動展示室 第4室_黄山雲海(映像)</b>						
<b>可動展示室 第5室_黄山雲海</b>						
k5-01	加山又造	1927-2004	黄山雲海	1995年	紙本墨画	
<b>可動展示室 第6室_日本画</b>						
k6-01	杉山寧	1909-1993	林檎図	1950年代頃	紙本着色	
k6-02	小倉遊亀	1895-2000	つかのま	1983年頃	紙本着色	

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	材質技法	備考
k6-03	中島千波	1945-	高山村の枝垂桜	2011年	絹本着色、金箔	
k6-04	東山魁夷	1908-1999	緑の詩	1983年	紙本着色	
k6-05	奥田元宋	1912-1984	池畔秋耀	1990年代頃	絹本着色	
k6-06	平山郁夫	1930-2009	興福寺	1970-1980年代頃	紙本着色	
k6-07	平山郁夫	1930-2009	月光巖島	1995年	紙本着色	
<b>可動展示室 第7室_小磯良平</b>						
k7-01	小磯良平	1903-1988	西洋人形	1973年	油彩、カンヴァス	
k7-02	小磯良平	1903-1988	少女(婦人像)	(1976年)	油彩、カンヴァス	
k7-03	小磯良平	1903-1988	婦人像	1980年頃か	油彩、カンヴァス	
k7-04	小磯良平	1903-1988	白川女	1967年	油彩、カンヴァス	
k7-05	小磯良平	1903-1988	大原女	1957年	油彩、カンヴァス	
k7-06	小磯良平	1903-1988	アトリエにて	1959年	油彩、厚紙	
k7-07	小磯良平	1903-1988	白川女	1967年	竹ペン、紙	
k7-08	小磯良平	1903-1988	室内(音楽 エスキース)	1973-74年頃	パステル、紙	
<b>可動展示室 第8室_エミール・ガレ</b>						
k8-01	エミール・ガレ	1846-1904	ハートの涙(ケマンソウ)	1902年頃	ガラス(被せガラス、グラヴェール、マルケトリ、アブリカシオン)	
k8-02	エミール・ガレ	1846-1904	クレマチス文花瓶	1900年頃	ガラス(被せガラス、金属酸化物の封入、金属箔の挟み込み、グラヴェール)	
k8-03	エミール・ガレ	1846-1904	花瓶「フランスの薔薇」	1901-1904年	ガラス(被せガラス、金属酸化物の封入、マルケトリ、アブリカシオン、グラヴェール)	
k8-04	エミール・ガレ	1846-1904	蘭文脚付杯	1900年頃	ガラス(被せガラス、金属酸化物の封入、エッチング、グラヴェール)	
k8-05	エミール・ガレ	1846-1904	ニオイアラセイトウ花器	1900年頃	ガラス(被せガラス、気泡の封入、金属箔の挟み込み、マルケトリ、グラヴェール)	
k8-06	エミール・ガレ	1846-1904	ひとよ葺文花瓶	1898-1900年頃	ガラス(被せガラス、エッチング、アンテールカレル、マルケトリ、グラヴェール)	

## 2

### エミール・ガレ没後 120 年 ガレのある部屋

—ジャポニスムからアール・ヌーヴォーへ



会期 2024年7月7日(日)－11月24日(日) 125日間  
主催 一般財団法人下瀬美術館／広島テレビ／中国新聞社  
協力 株式会社神谷美術  
後援 大竹市教育委員会

#### 概要

19世紀末から20世紀初頭にかけて、ヨーロッパを中心に流行したアール・ヌーヴォーは、その言葉が意味する通り、近代的な生活にふさわしい生活環境を創り出すため、過去の装飾様式から脱却し、「新しい様式」を求める動きであった。その代表的な芸術家のひとり、エミール・ガレ(1846-1904)は、陶器、ガラス工芸、家具の3つの分野にわたり、自然を着想源とした装飾性豊かな作品を生み出した。

本展は、エミール・ガレの生涯や活動を、下瀬美術館のコレクションと個人所蔵の作品とともに展覧し、その装飾美がいかにして作られたのかを探るものであった。2024年は、ガレが亡くなってから120年の節目の年にあたり、また新たな切り口でその魅力に迫った。ナンシー派美術館をモデルとした、ガレの家具やガラス工芸、ランプなどを配したサロンや寝室の再現展示から始まり、ナンシー、パリ、マイゼンタール、日本といったガレゆかりの地を切り口として、その制作の背景を読み解いていった。さらに、特集展示として、ドーム兄弟やマジョレルなど、ナンシー派の作家の作品も交えながら、ダイニングルームも再現し、ガレが周囲の芸術家たちにもたらした影響力にも触れた。

また、可動展示室では、本展が初公開となるラウル・デュフィ《大きな花束》や七世大木平蔵製《長刀鉾》など、8つのテーマで当館の多様なコレクションを紹介した。

印刷物 チラシ(A4) 15,000枚  
ポスター(B2) 450枚  
展示目録(A3 2つ折り2枚、8頁) 15,000部  
観覧者数 32,156人 \*1日平均294人

## 関連事業

### ①ワークショップ「大竹手すき和紙でハガキを作ろう」

日時 7月27日(土) 10:00~11:30/13:30~15:00  
会場 エントランス棟多目的スペース  
講師 おおたけ手すき和紙保存会  
参加費 2000円  
参加者 16人



### ②ワークショップ「ガレ風ボタニカルアロマジェルをつくろう」

日時 9月23日(月・祝)  
10:00~10:45/10:45~11:30/14:00~14:45  
14:45~15:30/15:30~16:15  
10月19日(土)  
10:00~11:30/15:00~16:30  
会場 エントランス棟多目的スペース  
参加費 300円  
参加者 9月23日\_63人  
10月19日\_26人



### ③ギャラリートーク

会場 企画展示室  
日時 毎月第1、第3土曜日 14:00~14:30  
参加者 7月20日\_20人  
8月3日\_19人、8月17日\_40人  
9月7日\_13人、9月21日\_20人  
10月5日\_25人、10月19日\_27人  
11月2日\_15人、11月16日\_20人



## 掲載記事

中国新聞(6/7、7/5、7/6、7/14、7/26、8/9、8/16、8/22、  
8/24、8/25、8/27、8/30、8/31、9/12、9/13、9/16、  
9/20、9/26、10/4、10/18、10/31、11/1、11/15、11/22)  
広島リビング新聞(7/12)/タウン情報まつやま7月号/  
TJ Hiroshima 月刊タウン情報ひろしま7月号/  
ママンパール 2024 no.74/愛媛Komachi8月号/  
スーモマガジン/大人のteatime vol.42/広報おおたけ8月号/  
婦人公論/オセラ9-10月号/大竹市わお!マップ/  
Casa BRUTUS October2024/ひろしま県老連/  
広島県美術館25ネットワーク広島県の美術館/  
建モノがたり/るるぶFREE '24-'25 Vol.5/  
AERA STYLE MAGAZINE 2024 AUTMN/WINTER

## テレビ報道等

FMはつかいち76.1MHz:昼なんじゃけん!761(生放送)  
(6/25、9/17)  
広島テレビ:テレビ派(8/21,10/30)  
ちゅピCOM:ちゅピCOMまちかどスタジオ(生放送)(9/20)

---

BSよしもと：発信Live!ジモトノチカラ(生放送)(10/2)  
日本テレビ：行列のできる法律相談所(10/13)

[展示目録] エミール・ガレ没後 120 年 ガレのある部屋 ―ジャポニスムからアール・ヌーヴォーへ

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	材質技法	備考
企画展示室 プロローグ_ガレのある部屋						
P-01	エミール・ガレ	1846-1904	聖杯(習作)	1893年頃	ガラス(被せガラス、アプリケーション)	個人蔵
P-02	ガレ	1904-1931	スフレ花文ランプ	1920年代頃	ガラス(被せガラス、スフレ、エッチング)、金属	
P-03	アルフォンス・マリア・ミュシャ	1860-1939	ビザンチン風の頭部：フルネット	1897年	リトグラフ、紙	
P-04	ルイ・マジョレル	1859-1926	サロンソファ・チェアセット	1906年頃	木、布	5脚1組/個人蔵
P-05	エミール・ガレ	1846-1904	楓文二段ティーテーブル		木、象嵌	
P-06	エミール・ガレ	1846-1904	ワイングラス	1902年頃	ガラス	2口1組
P-07	エミール・ガレ	1846-1904	風景文ネストテーブル		木、象嵌、ブロンズ	
P-08	エミール・ガレ	1846-1904	アザミ文キャビネット	(1890年代以降)	木、象嵌、ブロンズ、鏡	
P-09	エミール・ガレ	1846-1904	リキュールセット	1889年	ガラス(エッチング、エナメル彩、金彩)	8口1組
P-10	エミール・ガレ	1846-1904	くも文カラフェ	1900年頃	ガラス(被せガラス、エッチング、アプリケーション、グラヴェール)、金属	2口1組
P-11	エミール・ガレ	1846-1904	サイドテーブル		木、象嵌	
P-12	エミール・ガレ	1846-1904	花型テーブルランプ	1903-1904年頃	ガラス(被せガラス、エッチング、グラヴェール)、金属	
P-13	ガレ	1904-1931	あさがお文花瓶	1918-1931年頃	ガラス(被せガラス、エッチング)	
P-14	作者不詳		姿見		木、鏡	
P-15	ガレ	1904-1931	葉文ランプ	1906-1908年頃	ガラス(被せガラス、エッチング)、金属	
P-16	エミール・ガレ	1846-1904	犬型置物	1865-1890年代	陶	
P-17	エミール・ガレ	1846-1904	猫型置物	1865-1890年代	陶	
P-18	ルイ・マジョレル	1859-1926	ゲームテーブル	1900年頃	木、象嵌	
P-19	ガレ	1904-1931	木蓮文ランプ	1920年代	ガラス(被せガラス、エッチング)、金属	
P-20	エミール・ガレ	1846-1904	とんぼ文キャビネット	1900年頃	木、象嵌、ブロンズ	
P-21	エミール・ガレ	1846-1904	あさがおとトンボ文ランプ	1900年頃	ガラス(被せガラス、エッチング)、金属	
P-22	エミール・ガレ	1846-1904	蝶文サイドテーブル		木、象嵌	
P-23	エミール・ガレ	1846-1904	蟹と海藻文花瓶	1900年頃	ガラス(被せガラス、金属酸化物の封入、エッチング)	
P-24	ガレ	1904-1931	ざくろ文壁灯(一対)	1910年頃	ガラス(被せガラス、エッチング)、ブロンズ	2口1組
P-25	エミール・ガレ	1846-1904	オンベル文ベッド	1903年頃	木、象嵌	
P-26	エミール・ガレ	1846-1904	とんぼ文サイドテーブル	1910年頃	木、象嵌	
P-27	エミール・ガレ	1846-1904	チューリップ型ランプ	1902-1904年頃	ガラス(被せガラス、エッチング、パチネ)、金属	
P-28	エミール・ガレ	1846-1904	キャビネット	(1890年代半ば以降)	木、象嵌	
P-29	ガレ	1904-1931	蘭文蓋物	1920年頃	ガラス(被せガラス、エッチング)	
P-30	ガレ	1904-1931	花文ランプ		ガラス(被せガラス、エッチング)、ブロンズ	
P-31	エミール・ガレ	1846-1904	化粧台	1900年頃	木、象嵌、鏡	
P-32	エミール・ガレ	1846-1904	オンベル文椅子	1902年頃	木、象嵌	

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	材質技法	備考
<b>企画展示室 I 章_ナンシー</b>						
I-01	エミール・ガレ	1846-1904	ゴブレット「ジャック・カロの人物画」	1867-1876年頃	ガラス(グラヴェール)	
I-02	エミール・ガレ	1846-1904	カラフェとグラス	1889年	ガラス(エッチング、エナメル彩、金彩)	
I-03	エミール・ガレ	1846-1904	ジャンヌ・ダルク花瓶	1890年	ガラス(被せガラス、エッチング、金彩)	
I-04	ガレ	1904-1931	ロレーヌ十字文脚付杯	1910年頃	ガラス(被せガラス、パチネ、エッチング)	個人蔵
I-05	エミール・ガレ	1846-1904	クレマチス花瓶	1900年頃	ガラス(被せガラス、金属酸化物の封入、金属箔の挟み込み、グラヴェール)	
I-06	エミール・ガレ	1846-1904	蝶文花瓶	1900年頃	ガラス(被せガラス、気泡の封入、マルケトリ、グラヴェール)	
I-07	エミール・ガレ	1846-1904	蘭文脚付杯	1900年頃	ガラス(被せガラス、金属酸化物の封入、エッチング、グラヴェール)	
I-08	エミール・ガレ	1846-1904	ひとよ草花瓶	1898-1900年頃	ガラス(被せガラス、エッチング、アンテルカレール、マルケトリ、グラヴェール)	
I-09	エミール・ガレ	1846-1904	花瓶「フランスの薔薇」	1901-1904年	ガラス(被せガラス、金属酸化物の封入、マルケトリ、アプリケーション、グラヴェール)	
I-10	エミール・ガレ	1846-1904	はしばみ花瓶	1895年頃	ガラス(被せガラス、金属箔の挟み込み、グラヴェール)	個人蔵/ 展示期間7月7日-9月8日
I-11	エミール・ガレ	1846-1904	ユーカリ文杯	1900年頃	ガラス(被せガラス、金属酸化物の封入、アプリケーション、グラヴェール)	個人蔵/ 展示期間9月10日-11月24日
I-12	エミール・ガレ	1846-1904	ハートの涙(ケマンソウ)	1902年頃	ガラス(被せガラス、グラヴェール、マルケトリ、アプリケーション)	
I-13	エミール・ガレ	1846-1904	ぶどう文栓付カラフェ	1895年頃	ガラス(被せガラス、金属箔の挟み込み、アプリケーション、グラヴェール)	個人蔵
I-14	エミール・ガレ	1846-1904	テーブル	1891年	木、象嵌	
I-15	エミール・ガレ	1846-1904	ビュッフェ「麦の穂」	1900年頃	木、象嵌、ブロンズ	個人蔵
I-16	エミール・ガレ	1846-1904	アカシア文ランプ	1900年頃	ガラス(被せガラス、エッチング、グラヴェール)、金属	個人蔵/ 展示期間7月7日-9月8日
I-17	エミール・ガレ	1846-1904	ソテツ花瓶	1903年頃	ガラス(被せガラス、アプリケーション、パチネ、エッチング、グラヴェール)	個人蔵/ 展示期間9月10日-11月24日
<b>企画展示室 II 章_パリ</b>						
II-01	エミール・ガレ	1846-1904	椅子	1889年	木、象嵌	
II-02	エミール・ガレ	1846-1904	椅子「桜」	1890年	木、象嵌	
II-03	エミール・ガレ	1846-1904	イヌサフラン花瓶	1900年頃	ガラス(被せガラス、気泡の封入、マルケトリ、グラヴェール)	
II-04	エミール・ガレ	1846-1904	イヌサフラン文耳付花器	1900年頃	ガラス(被せガラス、マルケトリ、グラヴェール、アプリケーション)	
II-05	エミール・ガレ	1846-1904	シクラメン文花器	1900年頃	ガラス(被せガラス、グラヴェール、マルケトリ)	
II-06	エミール・ガレ	1846-1904	虫文花瓶	1900年	ガラス(被せガラス、グラヴェール、アプリケーション)	
II-07	エミール・ガレ	1846-1904	ニオイアラセイトウ花器	1900年頃	ガラス(被せガラス、気泡の封入、金属箔の挟み込み、マルケトリ、グラヴェール)	

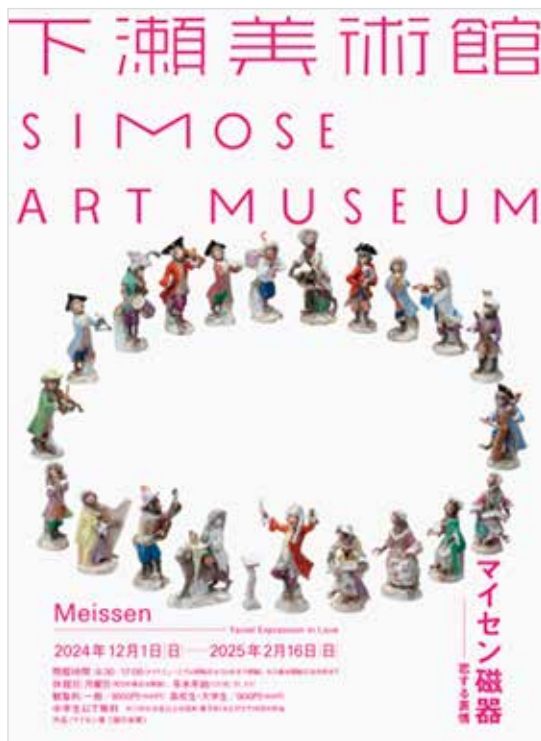
No.	作家名	生没年	作品名	制作年	材質技法	備考
<b>企画展示室 III章_マイゼンタール</b>						
III-01	エミール・ガレ	1846-1904	飾り棚(ツバメの巢)	1864-1870年	陶	
III-02	エミール・ガレ	1846-1904	飾り棚(ツバメの巢)	1864-1870年	陶	
III-03	エミール・ガレ	1846-1904	グリフィン文栓付瓶	1884年	ガラス(エナメル彩、金彩)	
III-04	エミール・ガレ	1846-1904	とんぼ文鳥型栓付瓶	1883-1884年	ガラス(エナメル彩、金彩)	
III-05	エミール・ガレ	1846-1904	蘭文耳付花瓶	1889年	ガラス(エッチング、エナメル彩、金彩)	
III-06	エミール・ガレ	1846-1904	人物文耳付花瓶	1891年	ガラス(被せガラス、エナメル彩、金彩)	
III-07	ブルグン、シュベラー社	1704-1969	花文耳付花瓶	1896-1900年頃	ガラス(エナメル彩、アンテルカレール、アプリカシオン、グラヴェール、金彩)	
<b>企画展示室 IV章_日本</b>						
IV-01	エミール・ガレ	1846-1904	エナメル彩鶴首花瓶	1884-1900年	ガラス(エナメル彩、金彩、エッチング)	
IV-02前	エミール・ガレ	1846-1904	あやめ文花瓶	1900年頃	ガラス(被せガラス、マルケトリ、グラヴェール)	個人蔵／ 展示期間7月7日-9月8日
IV-03後	エミール・ガレ	1846-1904	堆朱屈輪文花瓶	1895年頃	ガラス(被せガラス、エッチング、グラヴェール)	個人蔵／ 展示期間9月10日-11月24日
IV-04	エミール・ガレ	1846-1904	虫文キャビネット	(1890年代半ば以降)	木、象嵌	
IV-05	エミール・ガレ	1846-1904	蓮文花瓶	1897-1898年	ガラス(被せガラス、グラヴェール、エッチング)	
IV-06	エミール・ガレ	1846-1904	蝶文花瓶	1900年頃	ガラス(被せガラス、エッチング)	
IV-07	エミール・ガレ	1846-1904	雪中松文花器	1897-1900年頃	ウランガラス(被せガラス、エッチング、エナメル彩)	
IV-08前	ガレ	1904-1931	紫陽花花花瓶	1910年頃	ガラス(被せガラス、エッチング)	個人蔵／ 展示期間7月7日-9月8日
IV-09後	ガレ	1904-1931	藤文花瓶	1910年頃	ガラス(被せガラス、エッチング)	個人蔵／ 展示期間9月10日-11月24日
<b>企画展示室 コラム_ナンシー派</b>						
C-01	ルイ・マジョレル	1859-1926	チコリ文キャビネット	1900-1905年頃	木、象嵌、ブロンズ	
C-02	ルイ・マジョレル	1859-1926	チコリ文カップボード	1900年頃	木、象嵌、ブロンズ	個人蔵
C-03	ルイ・マジョレル	1859-1926	チコリ文ダイニングセット	1900-1905年頃	木、象嵌、布	
C-04	エミール・ガレ	1846-1904	バスケット	1880年頃	陶	個人蔵
C-05	ポール・ニコラ	1875-1952	ランプ		ガラス(被せガラス、エッチング)、金属	
C-06	エミール・ガレ	1846-1904	シャンパングラス	1902年頃	ガラス	3口1組
C-07	エミール・ガレ	1846-1904	華鬘草文花瓶	1895年頃	ウランガラス(エッチング、エナメル彩)	個人蔵
C-08	ドーム	1853-1909、 1864-1930	木の実文花瓶	1904-1907年頃	ガラス(ヴィトリフィカシオン、アプリカシオン、エッチング、グラヴェール)	
C-09	ドーム	1853-1909、 1864-1930	雪景文花瓶	1900-1907年頃	ガラス(エッチング、エナメル彩)	
C-10	ガレ	1904-1931	プラム文花瓶	1920年代	ガラス(被せガラス、スフレ、エッチング)	
C-11	エミール・ガレ	1846-1904	飾り皿「王冠とイタチ」	1880年頃	陶	個人蔵
C-12	エミール・ガレ	1846-1904	飾り皿「王冠とベガス」	1880年頃	陶	個人蔵
C-13	ドーム	1853-1909、 1864-1930	すみれ文鉢	1905年頃	ガラス(エッチング、エナメル彩、金彩)	

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	材質技法	備考
C-14	ガレ	1904-1931	紫陽花文鶴首花瓶	1910年代頃	ガラス(被せガラス、エッチング)	
C-15	ガレ	1904-1931	シクラメン文花瓶	1920年代	ガラス(被せガラス、エッチング)	
<b>可動展示室 第1室_十四代今泉今右衛門</b>						
K1-01	十四代今泉今右衛門	1962-	色絵雪花墨色墨はじき四季草花文花瓶		磁器	
K1-02	十四代今泉今右衛門	1962-	色絵吹墨墨はじき花丸紋花瓶	(2011年)	磁器	
K1-03	十四代今泉今右衛門	1962-	色絵薄墨墨はじき四季花文花瓶	(2009年か)	磁器	
K1-04	十四代今泉今右衛門	1962-	色絵雪花墨色墨はじき果実草花文花瓶	(2014年)	磁器	
K1-05	十四代今泉今右衛門	1962-	色絵薄墨墨はじき雪文翡翠香炉	(2011年)	磁器	
K1-06	十四代今泉今右衛門	1962-	色絵藍色墨はじき瓔珞文麒麟香炉	(2010年頃か)	磁器	
<b>可動展示室 第2室_絵画に見る花と器</b>						
K2-01	マルク・シャガール	1887-1985	紫色の花束	1970-1975年	油彩、カンヴァス	
K2-02	ラウル・デュフィ	1877-1953	大きな花束	1932年	油彩、カンヴァス	
K2-03	アンリ・マティス	1869-1954	青いチュチュの踊り子	1942年	油彩、カンヴァス	
K2-04	中川一政	1893-1991	向日葵	1983	油彩、カンヴァス	
K2-05	梅原龍三郎	1888-1986	薔薇図	1963年	油彩、カンヴァス、板	
K2-06	林武	1896-1975	薔薇	1969年	油彩、カンヴァス	
K2-07	金山平三	1883-1964	花	1935-1945年頃	油彩、カンヴァス	
<b>可動展示室 第3室_高村光雲と平櫛田中</b>						
K3-01	平櫛田中	1872-1979	布袋	1964年	木	
K3-02	平櫛田中	1872-1979	仙桃(東方朔)	1947年	木	
K3-03	高村光雲	1852-1934	仁王像	1918-1919年	木	2躯1組
K3-04	平櫛田中	1872-1979	六代菊五郎所演 鏡獅子(獅子奮迅三昧)	1971年	木	
<b>可動展示室 第4室_海と山を望む</b>						
K4-01	簀内佐斗司	1953-	富岳童子	2021年	木、漆、顔料	
K4-02	藤島武二	1867-1943	日の出(瀬戸内海)	(1934年)	油彩、カンヴァス	
K4-03	梅原龍三郎	1888-1986	富士山図	1952年	岩彩、デトランプ、金、紙、スケッチングボード	
K4-04	横山大観	1868-1958	東海の朝	1940年代頃	絹本着色	
K4-05	横山大観	1868-1958	蓬萊山	1948年	絹本着色	
K4-06	片岡球子	1905-2008	大観山の富士	1988年	紙本着色	
K4-07	竹内栖鳳	1864-1942	潮平	1920年代頃	絹本着色	
<b>可動展示室 第5室_七世大木平藏製《長刀鉾》</b>						
K5-01	七世大木平藏製	1942-	長刀鉾	1978年以降	木、布	鉾人形40体付属
K5-02	作者不詳		洛中洛外図屏風		紙本着色	6曲1双

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	材質技法	備考
<b>可動展示室 第6室_巨匠たちの版画</b>						
K6-01	ジャン＝フランソワ・ミレー	1814-1875	バター作りの女	1855年	エッチング、紙	
K6-02	エドゥアール・マネ	1832-1883	シャルル・ボードレールの肖像	(1865年)	エッチング、紙	
K6-03	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	1841-1919	帽子をかぶった少女	(1898年)	リトグラフ、紙(2/150)	
K6-04	エドヴァルド・ムンク	1863-1944	病める子	1894年	ドライポイント、ルーレット、紙	
K6-05	アンリ・マティス	1869-1954	チュールスカートの座るオダリスク	1924年	リトグラフ、紙(24/90)	
K6-06	バブロ・ピカソ	1881-1973	ランプの下の静物	1962年	リノカット、紙(12/50)	
K6-07	ジョルジュ・ルオー	1871-1958	自画像Ⅲ	1926年	リトグラフ、紙(HC ed.100)	
K6-08	アンリ・マティス	1869-1954	肘をつく女(肩に手をおき座る裸婦)	1929年	エッチング、雁皮紙、紙	
K6-09	パウル・クレー	1879-1940	網渡り師	1923年	リトグラフ、紙(23/138)	
K6-10	ジョアン・ミロ	1893-1983	黒と赤シリーズ 第7ステート	(1938年)	エッチング、紙(EA)	
<b>可動展示室 第7室_エコール・ド・パリ</b>						
K7-01	アメデオ・モディリアーニ	1884-1920	少女の頭部	20世紀	ブロンズ	
K7-02	藤田嗣治	1886-1968	2人の女友達	1930年頃	エッチング、紙(HC 5/10)	
K7-03	藤田嗣治	1886-1968	婦人像	1931年	鉛筆、水彩、紙	
K7-04	藤田嗣治	1886-1968	メイ	1939年	油彩、カンヴァス	
K7-05	藤田嗣治	1886-1968	鳥と少女	1956年	油彩、綿カンヴァス	
K7-06	モイズ・キスリング	1891-1953	女のポートレート	1935年	油彩、カンヴァス	
K7-07	ジュール・バスキン	1885-1930	横たわる裸婦	1925年	油彩、鉛筆、カンヴァス	
K7-08	マリー・ローランサン	1883-1956	座る女	1940年代頃	油彩、カンヴァス	
K7-09	モーリス・ユトリロ	1883-1955	ムーラン・ド・ラ・ギャレット	1915年	油彩、カンヴァス	
<b>可動展示室 第8室_輝く工芸</b>						
K8-01	十二代三輪休雪	1940-	三美神 其の壺	2016年	陶	3口1組
K8-02	北大路魯山人	1883-1959	金銀水玉彩花入		陶	
K8-03	藤田喬平	1921-2004	手吹飾宮 春千里	1989年頃	ガラス、純銀	
K8-04	藤田喬平	1921-2004	手吹飾宮 湖上の花	1991年頃	ガラス、純銀	
K8-05	藤田喬平	1921-2004	手吹 ヴェニスの栄光	1989年頃	ガラス	

# 3

## マイセン磁器 —恋する表情



会期 2024年12月1日(日) - 2025年2月16日(日) 66日間  
主催 一般財団法人下瀬美術館 / 中国新聞社  
協力 株式会社神谷美術  
後援 大竹市教育委員会 / 中国放送 / 広島テレビ / 広島ホームテレビ / テレビ新広島 / ちゅぴCOM / 広島エフエム放送 / FMはつかいち76.1MHz / FMちゅーピー76.6Mhz

**概要** ヨーロッパで最初の磁器製作所として知られるマイセン窯は、コーヒーカップや皿をてがける高級食器メーカーとしてのイメージが強いが、当館の収蔵作品は、フィギュリンやマイセン人形と呼ばれる磁器人形が多くを占めている。そこには繊細な人物描写とともに、18世紀ヨーロッパの宮廷生活を感じさせるモチーフが散りばめられている。本展では、当館のマイセン磁器のコレクションと借用作品も含めた約50点を展示し、作品の背景にも触れながら、300年以上にわたって人々を魅了する優美な磁器の世界を紹介した。

副題の「恋する表情」には、磁器人形に表現された人物たちの繊細な表情と、マイセン磁器に魅了されたコレクターたちの表情の2つの意味を込めており、冒頭の展示室では、映画「マイセン幻影」にも言及しながら、《エウロペ》や《猿の楽隊》を展示し、本展のテーマを提示した。また、マイセン窯の躍進を支えた彫刻家ヨハン・ヨアヒム・ケンドラーを中心に、磁器人形の歴史や18世紀ヨーロッパの宮廷文化に基づくモチーフなどに触れて、《山羊に乗った仕立屋》などの代表的な作品を紹介した。一方、今回初展示となる《シャンデリア》は、ファッションドールと取り合わせた展示とした。

企画展示室で行ったコレクション展では、「ちょっと気になるあのお顔」をテーマに、作品の中に表れる顔やそのユニークな表現が目を引く絵画や彫刻、陶磁器など30点余を展示した。河井寛次郎《呉須貼文扁壺》や澄川喜一《そりのあるかたち 2016 アカマツ》など初披露の作品もあった。

印刷物 チラシ(A4) 12,000枚  
ポスター(B2) 500枚  
展示目録(A3 2つ折り2枚、8頁) 8,000部  
観覧者数 34,002人 \*1日平均515人

## 関連事業

### ①ワークショップ「モールでつくる私だけのきらふわフェイスマスコット」

日時 12月21日(日) 10:30~12:00/15:00~16:30  
会場 エントランス棟多目的スペース  
参加費 800円  
参加者 15人



### ②ギャラリートーク

会場 可動展示室  
日時 毎月第1、第3土曜日 14:00~14:30  
参加者 12月7日\_40人、12月21日\_6人  
1月4日\_20人、1月18日\_6人  
2月1日\_40人、2月15日\_35人

### ③ナイトミュージアム

実地日 会期中の土曜日、12/24、12/25、1/12

#### 観覧者数(再入場を含む)

12月7日\_313人、12月14日\_315人、12月21日\_301人、  
12月24日\_82人、12月25日\_117人、  
1月4日\_475人、1月11日\_275人、1月12日\_280人、  
1月18日\_211人、1月25日\_307人  
2月1日\_254人、2月8日\_442人、2月15日\_410人

掲載記事 中国新聞(10/25、11/3、11/23、11/30、12/4、12/6、12/13、  
12/20、12/24、12/25、12/27、1/4、1/10、1/15、1/17、  
1/22、1/24、1/25、1/31、2/2、2/6、2/7、2/8、2/14)  
西Navi北陸12月号/西Navi12月号/  
建築と社会美術の窓2025年1月号/Wink2025年1月号/  
TJ Hiroshima 2025年1月号/KURE:BAN 1月号/  
関西・中国・四国じゃらん2025年2月号 別冊付録/  
旅行読売 2025年2月号/Lumimedia lab Inc. 2024/  
広報おたけ/新美術新聞読売ライフ 2025.1/  
ひろしま県民だよりVol.379/月刊石垣 2025.1/  
大樹Life 2025.2/Wink2025年2月号/YMfg2025Vol.9

テレビ報道等 テレビ新広島：TSSライク！（生放送）(12/2)  
広島テレビ：テレビ派(生放送)(12/3)  
NHK：NHKニュース(12/3)  
フジテレビ：めざましテレビ(12/3)  
日本テレビ：日テレニュース(12/3), DayDay.(12/4)  
中国放送：イマナマ(12/4)  
HOME：ピタニュー(生放送)(12/17)  
山口放送：さわやかモーニング(12/7取材)(12/17)  
FMはつかいち：昼なんじゃけん！761(生放送)(12/17)  
FM東広島：週末どげんする？(12/27)  
AIR-G'FM北海道：北川久仁子のbrilliant days ×F(12/27)

## [展示目録] マイセン磁器 ―恋する表情

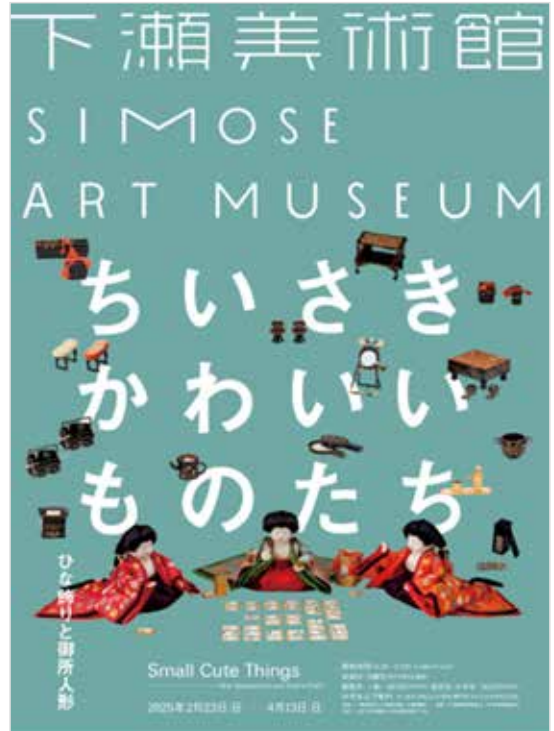
No.	作家名	生没年	作品名	制作年	材質技法	備考
<b>可動展示室 第1室_恋する表情</b>						
M1-02	マイセン窯	1700年代～	エウロベ	1750頃-1763年 (原型1747年頃、ケンドラー)	磁器、金属	個人蔵
M1-01	マイセン窯	1700年代～	猿の楽隊	20世紀 (原型1747年頃、ケンドラー、 1765年頃ケンドラー、ライ ニッケ)	磁器	二十二軀一組
<b>可動展示室 第2室_異国へのまなざし</b>						
M2-01	マイセン窯	1700年代～	バゴダ像	19世紀 (原型1762年、ケンドラー)	磁器	二軀一組/個人蔵
M2-02	マイセン窯	1700年代～	二人の踊る中国人の子供たち	18世紀半ば頃 (原型1749年、ケンドラー、 マイヤー)	磁器	二軀一組
M2-03	マイセン窯	1700年代～	四大陸の寓意 ヨーロッパ	19世紀 (原型1747年、エバーライン)	磁器	
M2-04	マイセン窯	1700年代～	四大陸の寓意 アメリカ	19世紀 (原型1747年、ケンドラー等)	磁器	
M2-05	マイセン窯	1700年代～	四大陸の寓意 アジア	19世紀 (原型1745年、ケンドラー、 エバーライン)	磁器	
M2-06	マイセン窯	1700年代～	四大陸の寓意 アフリカ	19世紀 (原型1745年、ケンドラー)	磁器	
<b>可動展示室 第3室_ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー</b>						
M3-01	マイセン窯	1700年代～	ポローニャ犬	1774-1813年 (原型1748年、ケンドラー)	磁器	
M3-02	マイセン窯	1700年代～	ぶどう狩り	18世紀後半 (原型1751年頃、ケンドラー等)	磁器	
M3-03	マイセン窯	1700年代～	山羊に乗った仕立屋	1924-1934年 (原型1737年、ケンドラー)	磁器	個人蔵
M3-04	マイセン窯	1700年代～	山羊に乗った仕立屋	19世紀 (原型1740年、ケンドラー、 エバーライン)	磁器	二軀一組/個人蔵
M3-05	マイセン窯	1700年代～	ポブリ壺	1753-1763年 (原型1753年、ケンドラー)	磁器	二軀一組/個人蔵
<b>可動展示室 第4室_神話をモチーフに</b>						
M4-01	マイセン窯	1700年代～	サビニの女たちの略奪	19世紀 (原型1748年、ケンドラー)	磁器	個人蔵
M4-02	マイセン窯	1700年代～	樹の下のバックス	19世紀 (原型1756年、マイヤー)	磁器	個人蔵
M4-03	マイセン窯	1700年代～	糸を紡ぐ子どもたち	1758-1763年 (原型1758年、ケンドラー等)	磁器	個人蔵
M4-04	マイセン窯	1700年代～	四大元素「地」	19世紀 (原型1741年、ケンドラー)	磁器	個人蔵
M4-05	マイセン窯	1700年代～	四大元素「水」	19世紀 (原型1741年、ケンドラー)	磁器	
M4-06	マイセン窯	1700年代～	四大元素「火」	19世紀 (原型1741年、ケンドラー)	磁器	個人蔵
M4-07	マイセン窯	1700年代～	四大元素「風」	19世紀 (原型1741年、ケンドラー)	磁器	
<b>可動展示室 第5室_マイセン磁器を飾る</b>						
M5-01	ルイ・マジョレル	1859-1926	鏡台		木、ブロンズ、鏡	
M5-02	マイセン窯	1700年代～	建築	19世紀後半(原型1770- 1775年、ケンドラー等)	磁器	
M5-03	マイセン窯	1700年代～	天文	19世紀後半(原型1770- 1775年、ケンドラー等)	磁器	
M5-04	マイセン窯	1700年代～	音楽	19世紀後半(原型1770- 1775年、ケンドラー等)	磁器	
M5-05	マイセン窯	1700年代～	彫刻	19世紀後半(原型1770- 1775年、ケンドラー等)	磁器	
M5-06	ルイ・マジョレル	1859-1926	藤文ベッド	1900年頃	木、象嵌	
M5-07	ポール・ニコラ	1875—1952	ランプ		ガラス(被せガラス、 エッチング)、金属	
M5-08	マイセン窯	1700年代～	時計	18世紀 (原型18世紀半ば頃)	磁器、金	

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	材質技法	備考
M5-09	マイセン窯	1700年代～	物乞に扮した天使	1877-1923年(原型1877-1880年、シュヴァーベ)	磁器	
M5-10	マイセン窯	1700年代～	貼花ポットとウォーマー	19世紀後半	磁器	
M5-11	作者不詳		姿見		木、鏡	
可動展示室 第6室_垣間見える宮廷の暮らし						
M6-01	マイセン窯	1700年代～	休息	19世紀 (原型1743年、ケンドラー)	磁器	個人属
M6-02	マイセン窯	1700年代～	ワインを楽しむ恋人たち	19世紀 (原型1744年、ケンドラー)	磁器	個人蔵
M6-03	マイセン窯	1700年代～	バグ型置物	19世紀 (原型1740年代、ケンドラー)	磁器	個人蔵
M6-04	マイセン窯	1700年代～	羊飼いの男女像飾り皿	19世紀 (原型18世紀半ば頃)	磁器	
M6-05	マイセン窯	1700年代～	水場の羊飼いの恋人	19世紀 (原型1750年、ケンドラー等)	磁器	個人蔵
M6-06	マイセン窯	1700年代～	燭台	19世紀 (原型1749年or1755年、ケンドラー)	磁器	二躯一組/個人蔵
M6-07	マイセン窯	1700年代～	花かごと鳥かごをもつ男女	19世紀 (原型1779年、アシエ)	磁器	個人蔵
可動展示室 第7室_恋の駆け引き						
M7-01	マイセン窯	1700年代～	楽器を弾く恋人たち	19世紀 (原型1737年or1743年、ケンドラー)	磁器	個人蔵
M7-02	マイセン窯	1700年代～	カードゲームをする男女	19世紀 (原型1750年、ケンドラー等)	磁器	個人蔵
M7-03	マイセン窯	1700年代～	貼花装飾テーブル	19世紀後半 (原型1854年頃、ロイテリッツ)	磁器	
M7-04	マイセン窯	1700年代～	貼花装飾テーブル	19世紀後半 (原型1854年頃、ロイテリッツ)	磁器	個人蔵
可動展示室 第8室_子供たちの情景						
M8-01	マイセン窯	1700年代～	葡萄しばり	19世紀(原型1785年頃、シェーンハイト)	磁器	個人蔵
M8-02	マイセン窯	1700年代～	子供たち	19世紀(原型1788年、シェーンハイト)	磁器	個人蔵
M8-03	マイセン窯	1700年代～	音楽を奏でる子供たち	19世紀 (原型1767年、ケンドラー)	磁器	個人蔵
M8-04	マイセン窯	1700年代～	ダンスをする子供たち	19世紀 (原型1760年、ケンドラー)	磁器	個人蔵
M8-05	マイセン窯	1700年代～	羊と子供たち	19世紀(原型1779年-1781年、アシエ)	磁器	個人蔵
M8-06	マイセン窯	1700年代～	飾り皿(子供達の情景)	1763-1774年頃	磁器	
企画展示室 第9室_シャンデリアとファッションドール						
M9-01	マイセン窯	1700年代～	シャンデリア	19世紀後半 (原型1760年、ケンドラー、19世紀後半、ロイテリッツ)	磁器	
M9-02	マイセン窯	1700年代～	シャンデリア	19世紀後半 (原型1760年頃、ケンドラー、19世紀後半、ロイテリッツ)	磁器	
M9-03	ゴーチェ	1860-1899	ファッションドール	1870-1885年	磁器、革、布、ガラス	個人蔵
M9-04	ゴーチェ	1860-1899	ファッションドール	1870-1880年	磁器、革、布、ガラス	個人蔵
M9-05	ピエール・ジュモー	1842-1877	ファッションドール	1865年頃	磁器、木、布、ガラス	個人蔵
M9-06	ゴーチェ	1860-1899	ファッションドール	1870-1885年	磁器、革、布、ガラス	個人蔵
企画展示室_コレクション展示 ちょっと気になるあのお顔						
C1-01	中川一政	1893-1991	向日葵	1983年	油彩、カンヴァス	
C1-02	河井寛次郎	1890-1966	呉須貼文扁壺	1960年代	陶	
C1-03	河井寛次郎	1890-1966	三色扁壺	1960年代	陶	

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	材質技法	備考
C1-04	澄川喜一	1931-2023	そりのあるかたち 2016 アカマツ	2016年	木	
C1-05	岡本太郎	1911-1996	坐ることを拒否する椅子	1963年頃か	陶	
C1-06	岡本太郎	1911-1996	ほおづえ(椅子)	1968年頃	木、布、金属	
C1-07	島村光	1942-	貌	2017年頃	陶	
C1-08	八木一夫	1918-1979	肖像	1960年代頃	陶	
C1-09	三岸好太郎	1903-1934	ピエロ	1932年頃	油彩、カンヴァス	
C1-10	鴨居玲	1928-1985	私の村の酔っぱらい(勲章)	1974年	油彩、カンヴァス	
C1-11	香月泰男	1911-1974	折り	1961年	油彩、カンヴァス、板	
C1-12	香月泰男	1911-1974	聖農	(1958-1960年代頃)	油彩、カンヴァス、板	
C1-13	棟方志功	1903-1975	光明の柵	1969年頃	木版、裏彩色、紙	
C1-14	棟方志功	1903-1975	萬葉妙顔大本師尊両薩屏風	1953年	紙本着色	二曲一双
C1-15	七世大木平藏製	1942-	本行 蘭陵王	1970年代以降	木、布	大太鼓二口が付属
C1-16	マルク・シャガール	1887-1985	夜ひらく	1927年	エッチング、ドライポイント、紙(38/120)	
C1-17	マルク・シャガール	1887-1985	紫色の花束	1970年-1975年	油彩、カンヴァス	
C1-18	マルク・シャガール	1887-1985	3人の軽業師	1956年	リトグラフ、紙(4/75)	
C1-19	フェルナン・レジェ	1881-1955	2人のコンポジション	1920年	リトグラフ、紙(ed.125)	
C1-20	パブロ・ピカソ	1881-1973	4人の裸婦と頭像 ([『ヴォアラールのための連作集』82])	1934年	エッチング、ビュラン、紙	
C1-21	パブロ・ピカソ	1881-1973	ダビデとバテシバ	1949年	リトグラフ、紙(10/50)	
C1-22	アメデオ・モディリアーニ	1884-1920	少女の頭部	20世紀	ブロンズ	
C1-23	藤田嗣治	1886-1968	メイ	1939年	油彩、カンヴァス	
C1-24	山口薫	1907-1968	牛の親子	1959年	油彩、カンヴァス	
C1-25	竹内栖鳳	1864-1942	猿猴猛威図	1902年	絹本着色	
C1-26	エミール・ガレ	1846-1904	猫型置物	1865-1890年代	陶	
C1-27	ルイ・イカール	1880-1950	サラブレット	1938年	エッチング、紙	
C2-01	ポール・アイズピリ	1919-2016	花を持つ少女	20世紀	油彩、カンヴァス	
C2-02	アンリ・マティス	1869-1954	青いチュチュの踊り子	1942年	油彩、カンヴァス	
C2-03	エミール・ガレ	1846-1904	ハートの涙(ケマンソウ)	1902年頃	ガラス(被せガラス、グラ ヴェール、マルケトリ、 アブリカシオン)	
C2-04	ビエール=オーギュスト・ ルノワール	1841-1919	少女		油彩、カンヴァス	
C2-05	カミーユ・ピサロ	1830-1903	バザンクール草原・秋	1894年	油彩、カンヴァス	
C2-06	アンリ・ルソー	1844-1910	家族のつどい	1896年	油彩、カンヴァス	
C3-01	エミール・ガレ	1846-1904	カゲロウ文脚付鉢	1889年頃	ガラス(エッチング、 エナメル彩、金彩)	
C3-02	エミール・ガレ	1846-1904	リキュールセット	1889年	ガラス(エッチング、 エナメル彩、金彩)	八口一組
C3-03	四谷シモン	1944-	少女の人形	2001年	紙、木、ガラス、毛、布、皮	

## 4

### ちいさきかわいいものたち —ひな飾りと御所人形



会期 2025年2月23日(日)–4月13日(日) 44日間  
主催 一般財団法人下瀬美術館／中国新聞社  
後援 広島県教育委員会／大竹市教育委員会

**概要** 「何も何も、ちいさきものは、みなうつくし」と『枕草子』で述べられているように、日本には、古来より小さきものを可愛らしいと愛でてきた歴史がある。清少納言は「うつくしきもの(かわいらしいもの)」として、葵の小さい葉や幼児が丈の短い着物を着て歩き回る様子のほか、雛の調度(雛飾り)をあげている。当館コレクションの出発点である、丸平大木人形店の雛人形や雛飾り、御所人形のなかにも、小さな雛飾りや婚礼道具など、精緻を極めた文様や技巧が凝らされたものが多くみられ、そうした「ちいさきもの」は下瀬家が自宅で側に置いて愛玩し慈しんだものであり、その一つひとつに愛情が込められている。

本展では、七世大木平蔵製の雛人形や雛飾り、御所人形を中心に「ちいさきもの」に焦点を当て、源氏物語の一場面が細密に描かれた源氏絵の貝桶や、貝合わせなどの婚礼道具、小さく華やかな裁縫道具や化粧道具、幼い子どもの姿をした可愛い御所人形など50点余りを紹介した。「遊戯」「お雛様・雛飾り」「御所人形」「能人形」「賀茂人形・木彫彩色人形」の5つのテーマと共に、下瀬家の雛段や丸平大木人形店のルーツなども紹介し、様々な切り口からちいさきかわいいものたちの魅力に迫った。

また、可動展示室では、平田郷陽や辻村寿三郎の創作人形をはじめ、冬、春といった季節になんだ作品として、エミール・ガレやドームのガラス工芸、加山又造の絵画などのコレクションを紹介した。

印刷物 チラシ(A4) 20,000枚  
ポスター(B2) 450枚  
展示目録(A3 2つ折り、4頁) 4,000部  
観覧者数 24,420人 \*1日平均555人

## 関連事業

### ①ワークショップ「大竹市の流し雛－ひな飾りを作ろう」

日時 2月17日(土) 10:00～11:30  
会場 エントランス棟多目的スペース  
講師 大竹市青少年育成市民会議の皆さま  
参加費 無料  
参加者 23人



### ②ギャラリートーク

会場 企画展示室  
日時 毎月第1、第3土曜日 14:00～14:30  
参加者 3月1日\_15人、3月15日\_27人  
4月5日\_22人

掲載記事 中国新聞(1/24、2/9、2/12、2/17、2/21、2/22、2/23、  
2/24、3/4、3/7、3/14、3/15、3/19、3/21、3/29、  
4/4、4/10、4/11、4/12)  
中国新聞レディースクラブSTORY会報誌2024Vol.4/  
KURE: BAN3月号 2025年/山口トライアングル/  
北広島町防火協会だより Vol.18/  
地域づくり 本編 2025年3月/  
TJ Hiroshima 2025年4月/anano.2440 2025年春



テレビ報道等 テレビ新広島：満点ママ(2/28)  
HOME：情報LAND(3/11)  
BS10：パネルクイズアタック25Next(2/23)  
FMはつかいち：ECOしま専科(3/11)  
広島テレビ：テレビ派(3/7)  
BSよしもと：小倉淳の47フォーカス(3/28)

## [展示目録] ちいさきかわいいものたち ―ひな飾りと御所人形

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	材質技法	備考
<b>企画展示室Ⅰ_雅な遊戯の世界</b>						
I-01	七世大木平藏製	1942-	御所人形 貝遊び	1975年以降	木、布	1軀、貝桶(2口1組)・貝合せ(22個)付属
I-02	七世大木平藏製	1942-	源氏絵 貝桶	昭和時代	木、着色	2口1組、貝合せ(54組)付属
I-03	七世大木平藏製	1942-	三面揃	昭和～平成時代	木、漆、布、金属	3面
I-04	七世大木平藏製	1942-	本狂 歌留多遊び	1978年以降	木、布、紙、歌留多	3軀1組
I-05	七世大木平藏製	1942-	香道具	昭和～平成時代	木、漆、紙、布	一揃
<b>企画展示室Ⅱ_おひなさまと華やかな雑飾り</b>						
II-01	七世大木平藏製	1942-	金屏風	昭和～平成時代	紙本金箔	六曲一双
II-02	六世大木平藏製	1913-1994	黒御袍立像御雛	1975年頃	木、布	2軀1組
II-03	七世大木平藏製	1942-	雪洞	昭和～平成時代	木、布、漆	2口1組
II-04	七世大木平藏製	1942-	三宝、瓶子、口花	昭和～平成時代	木、紙、金属	一揃
II-05	七世大木平藏製	1942-	本狂 狛曳 八寸	1978年以降	木、布	2軀1組
II-06	七世大木平藏製	1942-	結び五人官女	1978年以降	木、布	5軀1組
II-07	七世大木平藏製	1942-	本狂 狛曳 八寸	1978年以降	木、布	2軀1組
II-08	七世大木平藏製	1942-	花桶	昭和～平成時代	木、漆	2口1組
II-09	七世大木平藏製	1942-	御所人形 宝船曳	昭和～平成時代	木、布	1軀、宝船付属
II-10	七世大木平藏製	1942-	八人楽人	昭和～平成時代	木、布	8軀1組
II-11	七世大木平藏製	1942-	御駕籠	昭和～平成時代	木、漆	1台、長刀、傘等付属
II-12	七世大木平藏製	1942-	雅楽 楽器揃	1978年以降	木、漆	一揃
II-13	七世大木平藏製	1942-	三弦	1978年以降	木、布、象牙	5口1組
II-14	七世大木平藏製	1942-	御雛道具(御殿火鉢他)	昭和～平成時代	木、漆、布、紙、金属	一揃
II-15	七世大木平藏製	1942-	針箱	昭和～平成時代	木、漆、紙、金属	一揃
II-16	七世大木平藏製	1942-	十三揃	昭和～平成時代	木、漆、布、紙、金属	一揃
II-17	七世大木平藏製	1942-	三棚	昭和～平成時代	木、漆	3口1組
II-18	作者不詳		台所		木、金属、紙	一揃
II-19	七世大木平藏製	1942-	染付食器一式		磁器	一揃
<b>企画展示室Ⅲ_かわいい御所人形たち</b>						
III-01	七世大木平藏製	1942-	御所人形 這い子	1975年頃	木、布	1軀、でんでん太鼓付属
III-02	七世大木平藏製	1942-	御所人形 立児 衣裳着 男女 五寸	1975年頃	木、布	2軀1組
III-03	七世大木平藏製	1942-	御所人形 這い子	1975年頃	木、布	1軀、太鼓、守巾着付属
III-04	七世大木平藏製	1942-	御所人形 水引手裸二十態	1978年以降	木	20軀1組
III-05	七世大木平藏製	1942-	花見人形	昭和時代	木、紙、着色	24軀1組、桜付属
III-06	七世大木平藏製	1942-	御所人形 雅楽 迦陵頻と胡蝶	昭和～平成時代	木、布	2軀1組
III-07	七世大木平藏製	1942-	御所人形 仙桃	昭和～平成時代	木、布	1軀
III-08	七世大木平藏製	1942-	御所人形 酉烏帽子	昭和～平成時代	木、布	1軀
III-09	七世大木平藏製	1942-	御所人形 軍配持ち	1975年頃	木、布	1軀
III-10	作者不詳		扇面図屏風		紙本着色	四曲一隻

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	材質技法	備考
<b>企画展示室IV_能を舞う子どもの人形</b>						
IV-01	七世大木平藏製	1942-	御所人形 石橋	1978年以降	木、布	1躯
IV-02	七世大木平藏製	1942-	能人形 本狂 「三番叟」一尺六寸	1978年以降	木、布	1躯、扇、鈴付属
IV-03	七世大木平藏製	1942-	御所人形 橋弁慶	昭和～平成時代	木、布	1躯
IV-04	七世大木平藏製	1942-	能人形 本狂 狂言「末廣狩」	1978年以降	木、布	2躯1組
IV-05	七世大木平藏製	1942-	御所人形 高砂	1975年頃	木	2躯1組
IV-06	七世大木平藏製	1942-	能人形 本狂 「鶴亀」	昭和～平成時代	木、布	3躯1組
<b>企画展示室V_小さな賀茂人形と木彫彩色人形</b>						
V-01	七世大木平藏製	1942-	賀茂人形 十二支行列	1994年頃	木、布	12躯1組
V-02	七世大木平藏製	1942-	木彫彩色 七福神	昭和～平成時代	木、着色	7軀1組
V-03	七世大木平藏製	1942-	長刀鉾	1978年以降	木、布	曳き子(40体)付属
<b>可動展示室 第1室_エミール・ガレ</b>						
K1-01	エミール・ガレ	1846-1904	連文花瓶	1897-1898年	ガラス(被せガラス、グラヴュール、エッチング)	
K1-02	エミール・ガレ	1846-1904	蘭文耳付花瓶	1889年頃	ガラス(エッチング、エナメル彩、金彩)	
K1-03	エミール・ガレ	1846-1904	蘭文脚付杯	1900年頃	ガラス(被せガラス、金属酸化物の封入、エッチング、グラヴュール)	
K1-04	エミール・ガレ	1846-1904	ハートの涙(ケマンソウ)	1902年頃	ガラス(被せガラス、グラヴュール、マルケトリ、アプリカシオン)	
K1-05	エミール・ガレ	1846-1904	ひとよ草文花瓶	1898-1900年頃	ガラス(被せガラス、エッチング、アンテルカレル、マルケトリ、グラヴュール)	
K1-06	エミール・ガレ	1846-1904	蝶文花瓶	1900年頃	ガラス(被せガラス、気泡の封入、マルケトリ、グラヴュール)	
<b>可動展示室 第2室_冬景色</b>						
K2-01	エミール・ガレ	1846-1904	雪中松文花器	1897-1900年頃	ウランガラス(被せガラス、エッチング、エナメル彩)	
K2-02	ドーム	1853-1909、 1864-1930	雪景文ランプ	1900年以降	ガラス(エッチング、エナメル彩)、金属	
K2-03	川合玉堂	1873-1957	湖畔雪霜	1940年代頃	絹本着色	
K2-04	上村淳之	1933-2024	雪中遊禽	2000年代頃	紙本着色	
K2-05	加山又造	1927-2004	雪煙ノ嶺	1985年	紙本着色	
K2-06	岡鹿之助	1898-1978	雪の無線中継所	1967年	油彩、カンヴァス	
K2-07	脇田和	1908-2005	氷結の朝	1997年	油彩、カンヴァス	
<b>可動展示室 第3室_色絵と染付</b>						
K3-01	十三代酒井田柿右衛門	1906-1982	濁手豆菜文花瓶	1977年頃	磁器	
K3-02	富本憲吉	1886-1963	色絵瓢形飾徳利	1943年	磁器	
K3-03	北大路魯山人	1883-1959	染付猛鳥画花瓶	1929年	陶	
K3-04	近藤悠三	1902-1985	山染付花瓶		磁器	
K3-05	近藤悠三	1902-1985	柘榴染付皿		磁器	
K3-06	藤本能道	1919-1992	草白釉色絵兄鶴之図大皿	1980-1992年頃か	陶	
K3-07	藤本能道	1919-1992	草白釉色絵こぶし鶴之図六角大皿	1984年	陶	
<b>可動展示室 第4室_花と少女</b>						
K4-01	ビエール=オーギュスト・ルノワール	1841-1919	少女		油彩、カンヴァス	
K4-02	ビエール=オーギュスト・ルノワール	1841-1919	帽子をかぶった少女	1898年	リトグラフ、紙(2/150)	

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	材質技法	備考
K4-03	マルク・シャガール	1887-1985	紫色の花束	1970-1975年	油彩、カンヴァス	
K4-04	マリー・ローランサン	1883-1956	二人の少女	1930年頃	水彩、紙	
K4-05	ポール・アイズピリ	1919-2016	花を持つ少女	20世紀	油彩、カンヴァス	
K4-06	マリー・ローランサン	1883-1956	座る女	1940年代頃	油彩、カンヴァス	
K4-07	ポール・アイズピリ	1919-2016	花瓶の花		油彩、カンヴァス	
K4-08	岸田劉生	1891-1929	村娘図	1920年	水彩、紙	
<b>可動展示室 第5室_日本の人形</b>						
K5-01	鹿児島寿蔵	1898-1982	ポッピンを吹く南蛮童子	1936年	紙塑、 白染和紙(金銀砂子貼)	
K5-02	鹿児島寿蔵	1898-1982	獅子かつぎ	1970年代頃か	紙塑、白染和紙	
K5-03	堀柳女	1897-1984	髪ほつれ		木、布(木目込人形)	
K5-04	辻村寿三郎	1933-2023	シルクドール	2005年	布	
K5-05	辻村寿三郎	1933-2023	花の宴より 阿国	1996年	布	
K5-06	辻村寿三郎	1933-2023	南北五人女より 桜姫	2001年	布	
<b>可動展示室 第6室_平田郷陽</b>						
K6-01	平田郷陽	1903-1981	明月	1950-1960年代頃	木、布	
K6-02	平田郷陽	1903-1981	夢	1950-1960年代頃	木、布	
K6-03	平田郷陽	1903-1981	婦人	1954年頃	木、布	
K6-04	平田郷陽	1903-1981	松浦佐用比売	1971年	木、布	
K6-05	平田郷陽	1903-1981	雛遊	1950-1960年代頃	木、布	
K6-06	平田郷陽	1903-1981	雀	1940年頃か	木、布	
K6-07	平田郷陽	1903-1981	夕影		木、布	
<b>可動展示室 第7室_静物を描く</b>						
K7-01	杉山寧	1909-1993	林檎図	1950年代頃	紙本着色	
K7-02	安井曾太郎	1888-1955	静物	1928年	油彩、カンヴァス、パネル	
K7-03	青木大乗	1891-1979	静物	1950-1960年代頃	紙本着色、金泥	
K7-04	小倉遊亀	1895-2000	つかのま	1983年頃	紙本着色	
K7-05	梅原龍三郎	1888-1986	薔薇図	1963年	油彩、カンヴァス、板	
K7-06	ジョルジュ・ブラック	1882-1963	アマリリス	1958年	エッチング、 紙(HC.Ed.75)	
K7-07	坂本繁二郎	1882-1969	茄子と馬鈴薯菴入	1953年	油彩、カンヴァス	
K7-08	パブロ・ピカソ	1881-1973	ランプの下の静物	1962年	リノカット、紙(12/50)	
<b>可動展示室 第8室_春の風景</b>						
K8-01	加山又造	1927-2004	月明り	1995年	紙本着色	
K8-02	向井潤吉	1901-1995	叢中花	1977年	油彩、カンヴァス	
K8-03	西田俊英	1953-	靨翫の月	2021年	紙本着色	
K8-04	浅井忠	1856-1907	春光	1897年頃	油彩、カンヴァス	
K8-05	片岡球子	1905-2008	大観山の富士	1988年	紙本着色	
K8-06	中島千波	1945-	高山村の枝垂桜	2011年	絹本着色、金箔	

## 1 刊行物

### 展示目録

開館一周年記念 加山又造 一革新をもとめて  
展示目録(A3 2つ折り2枚、8頁) 8,000部

エミール・ガレ没後120年 ガレのある部屋 一ジャポニスムからアールヌーヴォーへ  
展示目録(A3 2つ折り2枚、8頁) 15,000部

マイセン磁器 一恋する表情  
展示目録(A3 2つ折り2枚、8頁) 8,000部

ちいさきかわいいものたち 一ひな飾りと御所人形  
展展示目録(A3 2つ折り、4頁) 4,000部

## 2 特別ギャラリートーク実施一覧

期日	時間	展覧会名	講座内容	講師	参加人数
4月14日	11:00-12:00	「開館一周年記念 加山又造 一革新をもとめて」	特別ギャラリートーク	加山由起(有限会社加山)	35
5月26日	11:00-12:00	「開館一周年記念 加山又造 一革新をもとめて」	特別ギャラリートーク	加山由起(有限会社加山)	40

### 3 ワークショップ実施一覧

期日	時間	講座名	講師	参加人数
7月27日	10:00-11:30	「大竹手すき和紙でハガキを作ろう」	おおたけ手すき和紙保存会	8
7月27日	13:30-15:00	「大竹手すき和紙でハガキを作ろう」	おおたけ手すき和紙保存会	8
9月23日	10:00-10:45	「ガレ風ポタニカルアロマジェルをつくろう」	担当学芸員	11
9月23日	10:45-11:30	「ガレ風ポタニカルアロマジェルをつくろう」	担当学芸員	13
9月23日	14:00-14:45	「ガレ風ポタニカルアロマジェルをつくろう」	担当学芸員	12
9月23日	14:45-15:30	「ガレ風ポタニカルアロマジェルをつくろう」	担当学芸員	14
9月23日	15:30-16:15	「ガレ風ポタニカルアロマジェルをつくろう」	担当学芸員	13
10月19日	10:00-11:30	「ガレ風ポタニカルアロマジェルをつくろう」	担当学芸員	13
10月19日	15:00-16:15	「ガレ風ポタニカルアロマジェルをつくろう」	担当学芸員	13
12月21日	10:30-12:00	「モールでつくる私だけのきらふわフェイスマスクット」	担当学芸員	6
12月21日	15:00-16:30	「モールでつくる私だけのきらふわフェイスマスクット」	担当学芸員	9
2月17日	10:00-11:30	「大竹市の流し雛一ひな飾りを作ろう」	大竹市青少年育成市民会議	23

## 4 鑑賞サポートプログラム実施一覧

期日	展覧会名	実施種別	講座内容	参加人数
4月18日		事前申込み	ガイドランス	26
4月21日		事前申込み	ガイドランス	44
4月25日		事前申込み	ガイドランス	15
4月27日		定期開催	ギャラリートーク	14
5月10日		事前申込み	ガイドランス	10
5月11日		事前申込み	ガイドランス	75
5月14日		事前申込み	ギャラリートーク	22
5月15日		事前申込み	ギャラリートーク	22
5月18日		定期開催	ギャラリートーク	30
5月19日		事前申込み	ガイドランス	19
5月23日		事前申込み	ガイドランス	22
5月24日		事前申込み	ギャラリートーク	22
5月24日		事前申込み	ガイドランス	21
5月28日		事前申込み	ガイドランス	25
5月28日		事前申込み	ガイドランス	87
5月29日	「開館一周年記念 加山又造 一革新をもとめて」	事前申込み	ギャラリートーク	40
5月29日		事前申込み	ガイドランス	9
6月1日		事前申込み	ガイドランス ギャラリートーク	20
6月2日		事前申込み	ガイドランス ギャラリートーク	30
6月4日		事前申込み	ガイドランス	37
6月6日		事前申込み	ガイドランス	31
6月14日		事前申込み	ギャラリートーク	18
6月15日		事前申込み	ガイドランス	21
6月15日		定期開催	ギャラリートーク	32
6月19日		事前申込み	ガイドランス	17
6月22日		事前申込み	ガイドランス	26
6月26日		事前申込み	ガイドランス	27
6月27日		事前申込み	ガイドランス	29
6月27日		事前申込み	ガイドランス	27
6月28日		事前申込み	ガイドランス	32
6月28日		事前申込み	ギャラリートーク	27
6月28日		事前申込み	ガイドランス	23
7月9日		事前申込み	ガイドランス	31
7月12日		事前申込み	ギャラリートーク	33
7月17日		事前申込み	ガイドランス	18
7月20日	「ガレのある部屋 ージャポニスムからアール・ヌーヴォーへ」	事前申込み	ギャラリートーク	11
7月20日		事前申込み	ガイドランス	37
7月20日		定期開催	ギャラリートーク	20
8月3日		事前申込み	ガイドランス	20

期日	展覧会名	実施種別	講座内容	参加人数
8月3日		定期開催	ギャラリートーク	19
8月17日		定期開催	ギャラリートーク	40
9月1日		事前申込み	ガイドランス	13
9月1日		事前申込み	ガイドランス	24
9月6日		事前申込み	ガイドランス	6
9月7日		事前申込み	ガイドランス	39
9月7日		定期開催	ギャラリートーク	13
9月10日		事前申込み	ガイドランス	5
9月13日		事前申込み	ガイドランス・ギャラリートーク	15
9月13日		事前申込み	ガイドランス	87
9月15日		事前申込み	ガイドランス	18
9月16日		事前申込み	ガイドランス	18
9月17日		事前申込み	ガイドランス・ギャラリートーク	7
9月19日		事前申込み	ガイドランス	20
9月20日		事前申込み	ガイドランス	17
9月20日		事前申込み	ガイドランス	10
9月21日		事前申込み	ガイドランス	20
9月21日		定期開催	ギャラリートーク	20
9月28日		事前申込み	ガイドランス	12
10月1日	「ガレのある部屋 ージャポニスムからアール・ヌーヴォーへ」	事前申込み	ガイドランス	12
10月2日		事前申込み	ガイドランス	20
10月3日		事前申込み	ギャラリートーク	20
10月3日		定期開催	ギャラリートーク	25
10月6日		事前申込み	ギャラリートーク	5
10月8日		事前申込み	ガイドランス	25
10月9日		事前申込み	ガイドランス	26
10月11日		事前申込み	ガイドランス・ギャラリートーク	12
10月15日		事前申込み	ガイドランス	15
10月15日		事前申込み	ガイドランス・ギャラリートーク	20
10月17日		事前申込み	ガイドランス	27
10月17日		事前申込み	ガイドランス・ギャラリートーク	5
10月19日		定期開催	ギャラリートーク	27
10月20日		事前申込み	ガイドランス	22
10月20日		事前申込み	ガイドランス	80
10月21日		事前申込み	ガイドランス	40
10月21日		事前申込み	ガイドランス	29
10月26日		事前申込み	ガイドランス	22
10月27日		事前申込み	ギャラリートーク	25
10月27日		事前申込み	ギャラリートーク	48

期日	展覧会名	実施種別	講座内容	参加人数
10月29日		事前申込み	ギャラリートーク	15
10月30日		事前申込み	ギャラリートーク	10
10月30日		事前申込み	ガイドランス	35
10月30日		事前申込み	ガイドランス	39
11月1日		事前申込み	ガイドランス	40
11月2日		事前申込み	ガイドランス	20
11月2日		事前申込み	ガイドランス	18
11月2日		事前申込み	ガイドランス	30
11月2日		定期開催	ギャラリートーク	15
11月2日		事前申込み	ガイドランス	30
11月6日		定期開催	ギャラリートーク	20
11月9日		事前申込み	ガイドランス	15
11月9日	「ガレのある部屋 ージャポニスムからアール・ヌーヴォーへ」	事前申込み	ガイドランス	21
11月9日		事前申込み	ガイドランス	40
11月12日		事前申込み	ガイドランス	26
11月15日		事前申込み	ギャラリートーク	29
11月15日		事前申込み	ガイドランス	38
11月17日		事前申込み	ガイドランス・ギャラリートーク	17
11月19日		事前申込み	ガイドランス	12
11月20日		事前申込み	ガイドランス	15
11月21日		事前申込み	ガイドランス	30
11月21日		事前申込み	ガイドランス	35
11月23日		事前申込み	ギャラリートーク	29
11月23日		事前申込み	ガイドランス	24
11月24日		事前申込み	ギャラリートーク	18
12月1日		事前申込み	ガイドランス・ギャラリートーク	26
12月1日		事前申込み	ギャラリートーク	28
12月3日		事前申込み	ガイドランス・ギャラリートーク	3
12月4日		事前申込み	ガイドランス	30
12月5日		事前申込み	ガイドランス	46
12月7日		事前申込み	ガイドランス	13
12月7日		事前申込み	ガイドランス	30
12月7日	「マイセン磁器 ー恋する表情」	定期開催	ギャラリートーク	40
12月8日		事前申込み	ガイドランス	26
12月10日		事前申込み	ガイドランス	10
12月12日		事前申込み	ガイドランス	17
12月14日		事前申込み	ガイドランス	12
12月14日		事前申込み	ガイドランス	39
12月14日		事前申込み	ガイドランス	10

期日	展覧会名	実施種別	講座内容	参加人数
12月14日		事前申込み	ガイドンス	12
12月19日		事前申込み	ガイドンス	40
12月21日		定期開催	ギャラリートーク	6
12月22日		事前申込み	ガイドンス・ギャラリートーク	9
1月4日		事前申込み	ガイドンス	19
1月4日		定期開催	ギャラリートーク	20
1月17日		事前申込み	ガイドンス	20
1月17日		事前申込み	ガイドンス・ギャラリートーク	14
1月18日		事前申込み	ギャラリートーク	3
1月18日		事前申込み	ガイドンス	14
1月18日		定期開催	ギャラリートーク	6
1月19日		事前申込み	ガイドンス	34
1月19日		事前申込み	ガイドンス	17
1月19日		事前申込み	ガイドンス	30
1月19日		事前申込み	ギャラリートーク	5
1月19日		事前申込み	ガイドンス	17
1月23日	「マイセン磁器 一恋する表情」	事前申込み	ガイドンス	26
1月26日		事前申込み	ガイドンス	41
1月29日		事前申込み	ガイドンス	7
2月1日		定期開催	ギャラリートーク	40
2月4日		事前申込み	ガイドンス	17
2月5日		事前申込み	ガイドンス	26
2月7日		事前申込み	ガイドンス	21
2月8日		事前申込み	ガイドンス	14
2月8日		事前申込み	ガイドンス	9
2月8日		事前申込み	ギャラリートーク	5
2月8日	事前申込み	ガイドンス	44	
2月9日	事前申込み	ギャラリートーク	21	
2月9日	事前申込み	ガイドンス	13	
2月13日	事前申込み	ガイドンス	13	
2月14日	事前申込み	ガイドンス・ギャラリートーク	24	
2月15日	事前申込み	ガイドンス	44	
2月15日	事前申込み	ガイドンス	40	
2月15日	定期開催	ギャラリートーク	35	
2月25日	事前申込み	ガイドンス	34	
2月26日	事前申込み	ガイドンス	23	
2月26日	「ちいさきかわいいものたち 一ひな飾りと御所人形」	事前申込み	ガイドンス	64
2月26日		事前申込み	ガイドンス	29
3月1日		事前申込み	ガイドンス	20

期日	展覧会名	実施種別	講座内容	参加人数
3月1日		定期開催	ギャラリートーク	15
3月2日		事前申込み	ギャラリートーク	20
3月2日		事前申込み	ガイドダンス	30
3月6日		事前申込み	ガイドダンス	20
3月6日		事前申込み	ガイドダンス	31
3月9日		事前申込み	ギャラリートーク	4
3月9日		事前申込み	ガイドダンス	39
3月11日		事前申込み	ガイドダンス	30
3月11日		事前申込み	ガイドダンス	17
3月11日		事前申込み	ガイドダンス・ギャラリートーク	16
3月12日		事前申込み	ガイドダンス	41
3月12日		事前申込み	ガイドダンス	14
3月14日		事前申込み	ガイドダンス	10
3月15日		事前申込み	ガイドダンス	22
3月15日		定期開催	ギャラリートーク	27
3月15日		事前申込み	ガイドダンス	27
3月16日		事前申込み	ガイドダンス	36
3月16日		事前申込み	ガイドダンス	29
3月16日		事前申込み	ギャラリートーク	25
3月20日		事前申込み	ガイドダンス	20
3月22日	「ちいさきかわいいものたち —ひな飾りと御所人形」	事前申込み	ガイドダンス	41
3月23日		事前申込み	ガイドダンス	20
3月25日		事前申込み	ガイドダンス	18
3月26日		事前申込み	ガイドダンス	37
3月26日		事前申込み	ギャラリートーク	30
3月27日		事前申込み	ガイドダンス	21
3月27日		事前申込み	ガイドダンス	13
3月28日		事前申込み	ガイドダンス	24
3月29日		事前申込み	ガイドダンス	42
3月29日		事前申込み	ガイドダンス	46
3月29日		事前申込み	ガイドダンス	40
3月29日		事前申込み	ガイドダンス	14
3月30日		事前申込み	ガイドダンス	42
3月30日		事前申込み	ギャラリートーク	25
3月30日		事前申込み	ガイドダンス	36
4月1日		事前申込み	ガイドダンス	8
4月2日		事前申込み	ガイドダンス	10
4月3日		事前申込み	ガイドダンス・ギャラリートーク	18
4月3日		事前申込み	ガイドダンス・ギャラリートーク	37
4月5日		定期開催	ギャラリートーク	22
4月6日		事前申込み	ガイドダンス	41
4月6日		事前申込み	ガイドダンス	43

期日	展覧会名	実施種別	講座内容	参加人数
4月6日	「ちいさきかわいいものたち 一ひな飾りと御所人形」	事前申込み	ギャラリートーク	17
4月8日		一ひな飾りと御所人形」	ガイダンス	20
4月8日		事前申込み	ガイダンス	8
4月10日		事前申込み	ガイダンス	44
4月10日		事前申込み	ギャラリートーク	3
4月10日		事前申込み	ギャラリートーク	24
4月11日		事前申込み	ガイダンス	20
4月12日		事前申込み	ガイダンス	45
4月12日		事前申込み	ギャラリートーク	43
4月12日		事前申込み	ガイダンス	23
4月13日		事前申込み	ガイダンス	20
4月13日		事前申込み	ガイダンス	33
4月13日		事前申込み	ガイダンス	46
4月13日		事前申込み	ガイダンス	21
4月13日		事前申込み	ガイダンス	48

## 5 スクールプログラム実施一覧

期日	学校	実施内容	児童・生徒数	引率教員数	利用者数
4月26日	大竹市立玖波小学校	美術館ガイダンス	98	12	110
5月2日	大竹市立大竹小学校	美術館ガイダンス	114	7	121
5月17日	広島西特別支援学校高等部3年	リモート鑑賞 鑑賞補助	2	6	8
6月12日	広島西特別支援学校高等部	リモート鑑賞 鑑賞補助	1	3	4
10月6日	アトリエREIこども舎さがた	美術館ガイダンス	120 (保護者含む)	4	124
10月11日	広島県立西条特別支援学校	自由見学	4	6	10
10月23日	広島県立廿日市特別支援学校	美術館ガイダンス	5	6	11
10月29日	広島市立広島特別支援学校	自由見学	10	11	21
12月3日	広島県立広島西特別支援学校	リモート鑑賞 鑑賞補助		1	1
12月22日	大竹市地域学校協働本部	美術館ガイダンス・作品解説ツアー	16	5	21

## 6 職場体験 中学2年生1人参加

	10:00～12:00	13:00～15:00	15:00～15:30	
8月	21日	美術館見学と美術館の仕事内容ガイダンス	作品鑑賞、看視業務の補助	一日の反省と活動記録記入
	22日	受付業務の補助	図書の整理作業 (分類番号の付番、ラベル添付、配架)	一日の反省と活動記録記入
	23日	エミール・ガレの庭の鑑賞、作業	美術館関連の新聞の切り抜き、他館の展覧会 チラシの整理、ワークショップ試作	一日の反省と活動記録記入



## 所蔵品貸出実績

作家名	作品名	貸出先	目的（展覧会名）・展示期間
エミール・ガレ	栓付カラフェ	徳島県立近代美術館	「没後120年 エミール・ガレ展」 2024年10月12日～12月15日
エミール・ガレ	トンボ文花器	徳島県立近代美術館	「没後120年 エミール・ガレ展」 2024年10月12日～12月15日
エミール・ガレ	イヌサフラン文花器	徳島県立近代美術館	「没後120年 エミール・ガレ展」 2024年10月12日～12月15日
エミール・ガレ	睡蓮文花器	徳島県立近代美術館	「没後120年 エミール・ガレ展」 2024年10月12日～12月15日
坂 茂	「ラ・セーヌ・ミュージカル」の模型	日本芸術院	日本芸術院会員審査 2025年2月1日～2月14日

## 1 建築概要

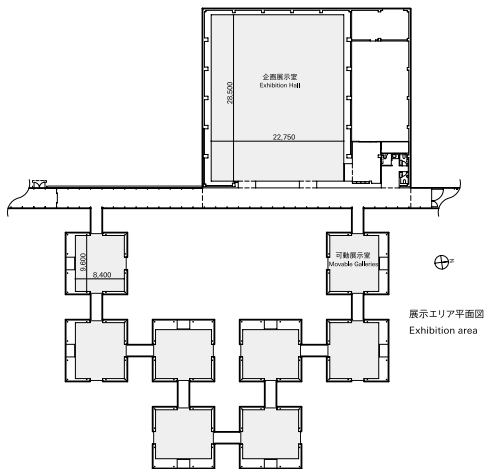
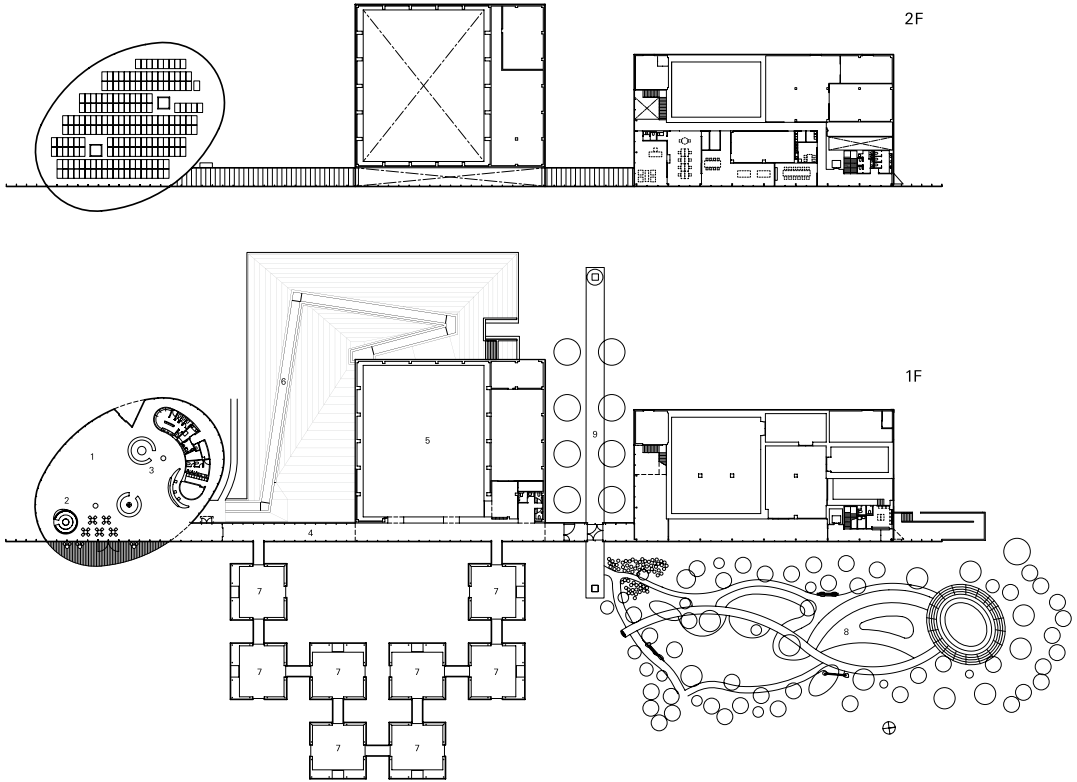
施設名称	下瀬美術館
所在地	広島県大竹市晴海二丁目10番50号
敷地面積	46,412.74㎡
建築面積	4,815.02㎡
延床面積	5,946.81㎡
	管理部門(事務室等)704.99㎡
	研究部門(研究室)150.88㎡
	展示部門(展示室)1,560.33㎡
	収蔵部門(収蔵庫)683.06㎡
	その他(ホール・廊下等)2,847.55㎡
構造	RC造、鉄骨造、一部木造
階数	地上2階、地下1階
建築主	丸井産業株式会社 会長 下瀬ゆみ子
設計監理	株式会社坂茂建築設計
施工業者	鹿島建設株式会社 中国支店
施工期間	2021年5月～2023年1月

## エントランス棟

主体構造	鉄骨造、一部木造
階数	地上1階
床面積	808.83㎡
天井高	4,825mm
床仕上	エポキシ樹脂系塗装+ウレタン防塵塗装
壁仕上	不燃煉り付け化粧板 バンゼルローズ t=4
天井仕上	GB t=12.5 EP-G塗装

## 企画展示室

主体構造	鉄筋コンクリート造 一部プレストレストコンクリート造、鉄骨造
階数	地上2階、地下1階
床面積	776.25㎡
天井高	4,500mm
床仕上	エポキシ樹脂系塗装+ウレタン防塵塗装
壁仕上	合板 t=12 GB t=12.5 EP-G塗装
天井仕上	GB t=12.5+9.5 EP-G塗装
照明	ダウンライト、LEDウォールウォッシュヤ 色温度3,500K 調光1～100% 無線信号制御方式(制御用タブレット) スポット照明用ライティングダクト



- 1 エントランス棟
- 2 ミュージウムカフェ
- 3 ミュージウムショップ
- 4 通路
- 5 企画展示室
- 6 望洋テラスへの遊歩道
- 7 可動展示室
- 8 エミール・ガレの庭
- 9 鏡の森

## 可動展示室

主体構造	鉄骨造+鋼製台船造
床面積	98.01㎡×8棟
天井高	3,500mm
床仕上	長尺ビニルシート
壁仕上	合板 t=12 GB t=12.5 EP-G塗装
天井仕上	軽量GB t=12.5 EP-G塗装
照明	LEDダウンライト、LEDウォールウォッシャ 色温度3,500K 調光1～100% スポット照明用ライティングダクト

## 管理棟 収蔵庫

主体構造	鉄骨造
床面積	533.86㎡(一時保管庫を除く)
天井高	6,400mm(一部3,500mm)
床仕上	ブナフローリング t=15 無塗装 乱尺張り
壁仕上	無機質系調湿板 t=8 一部日本杉 無塗装
天井仕上	無機質系調湿板 t=8 一部日本杉 無塗装
照明	LEDライン照明 色温度3,500K

## 設備概要

電気設備	受電方式 高圧受電6.6kV 1回線 設備容量2,250kVA 予備電源 非常用発電機225kVA 太陽光発電設備305kW
空調設備	熱源空冷式ヒートポンプチラー5モジュール 展示室・収蔵庫 エアハンドリングユニット+単一ダクト方式(恒温恒湿) 可動展示棟 恒温恒湿パッケージ形空調機 管理・事務室等 外調機+パッケージ形空調機(空冷ヒートポンプ式(電気)) エントランス棟 エアハンドリングユニット+単一ダクト方式併用の床輻射冷暖房方式
消火設備	ハロゲン化物消火設備(展示室・収蔵庫・一時保管庫) 屋内消火栓および消火器
排煙設備	自然排煙設備および機械排煙
防犯設備	機械警備システム/入退室管理システム 監視カメラ/防犯センサー
衛生設備	給水(水道直結方式) 給湯(局所給湯方式) 排水(汚水雑排水合流、公共下水放流、雨水分流)
駐車台数	83台(車椅子用2台)

## 下瀬美術館管理規定

2023(令和5年)年3月1日

規則 第1号

## (趣旨)

第1条 この規則は、下瀬美術館(以下「美術館」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

## (休館日)

第2条 美術館の休館日は、次のとおりとする。

(1)毎週月曜日(これらの日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その限りではない)

(2)12月30日から翌年1月1日まで

2 前項の規定にかかわらず、下瀬美術館館長(以下「館長」という)が特に必要があると認めるときは、あらかじめ掲示して臨時に休館し、又は休館日に開館することができる。

## (開館時間)

第3条 美術館の開館時間は、9時30分から17時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、館長が特に必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

## (入館の制限)

第4条 館長は、次のいずれかに該当する者に対し、その入館を拒否し、または退館を命ずることができる。

(1)館内の秩序を乱し、または乱すおそれのある者

(2)美術館の施設もしくは設備または美術品を損傷するおそれのある者

(3)その他館長の指示に従わない者

## (入館者の遵守事項)

第5条 美術館の入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1)美術品等に触れないこと。

(2)インクの筆記具でメモをとらないこと。

(3)所蔵作品のフラッシュ撮影をしないこと、所蔵作品以外の美術品等の撮影をしないこと。

(4)事前の許可申請をせずに、館内で模写をしないこと。

(5)事前の許可申請をせずに、館内での動画撮影をしないこと。

(6)館内もしくは敷地内で喫煙をしないこと。

(7)展示室エリア内で携帯電話の通話、飲食をしないこと、または大きな手荷物を持ち込まないこと。

(8)館内に傘を持ち込まないこと。

(9)その他館長が指示する事項。

## (入館料)

第6条 美術館の入館者は、館長の定める入館券によらなければならない。

(1)入館料は、その都度館長が定める。

### (入館料の減免)

第7条 次のいずれかに該当する者に対し、入館料を免除または減額をする。

- (1)中学生以下の者。
- (2)大竹市内に所在する小学校、中学校の児童生徒および引率者が、教育活動の一環として入館する場合。
- (3)障害者手帳を有する者及び付添者。ただし、付添者は、当該障害者等1人につき1人に限る。
- (4)20人以上の団体。
- (5)大竹市民。
- (6)その他館長が特に必要と認めた者。

### (特別観覧の許可)

第8条 美術館の所蔵品の写真原板使用、写真撮影、動画撮影、模写、模造又は熟覧(以下これらを「特別観覧」という。)をしようとする者は、特別観覧をしようとする日の七日前までに申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

### (寄託)

第9条 館長は、美術品の所有者から寄託の依頼があった場合、美術館設置の趣旨に沿うと認めるときは、これを無償で受託することができる。

- 2 美術品を寄託しようとする者は、美術品寄託申請書(様式第1号)を館長に提出し、その承認を受けるものとする。

### (寄託品の受託並びに返還)

第10条 館長は、美術品の寄託を受けたときは、寄託者に寄託証書(様式第2号)を交付するとともに寄託原符に必要事項を記入するものとする。

- 2 寄託品の返還を受けようとする者は、原則として返還を受けようとする日の1月前に返還請求書(様式3号)を館長に提出しなければならない。
- 3 寄託品は、寄託証書と引き替えに所有者に引き渡すものとする。
- 4 作品を受け取る者が寄託者の代理人のときは、寄託証書に、委任状その他受領権限を証する書類を添えるものとする。

### (寄託期間及び期間の更新)

第11条 寄託期間は2年とする。ただし館長が必要と認めるときは、これを短縮し又は更新することができる。

- 2 寄託期間を経過後寄託者から返還の請求がない場合は寄託期間を更新したものとみなす。
- 3 寄託期間の更新をするときは、寄託証書の書換えを行うものとする。

### (所有者の変更等)

第12条 寄託者は、寄託した美術品の所有者に変更があったとき又は所有者の氏名、名称、住所等に変更があったときは、寄託証書に変更内容を証する書類を添え、館長に提出し、寄託証書の書換えを行うものとする。

#### (寄託証書の再交付)

第13条 寄託証書を亡失し又は著しく損傷したときは、その理由を記載した書類(損傷した場合は、その寄託証書)を添え、寄託証書の再発行を申請するものとする。

#### (作品輸送経費の負担)

第14条 所有者は、寄託品の搬入又は返還に要する荷造り及び運搬の経費を負担しなければならない。ただし、館長において特にその必要がないと認めた場合は、この限りでない。

#### (寄託品の保存等)

第15条 館長は、寄託した美術品の展示及び保存については、美術館に所蔵する美術品の例により取扱うものとする。

- 2 館長は、保存中の美術作品を補修する必要があると認めるときは、寄託者に助言を行うことがある。

#### (寄 付)

第16条 美術品を寄付しようとするときは、美術品寄付申込書(様式第4号)を館長に提出するものとする。

#### (寄付受納の決定)

第17条 館長は、寄付申込のあった美術品の受納の適否を申込者に通知するものとする。

- 2 館長は、美術品の受納のために美術品を一時借用し又は写真その他の資料の提出を求めることがある。

#### (美術品の貸付)

第18条 館長は、美術館に所蔵する美術品を国公立美術館又はこれらに準ずる者に貸付けることができる。

#### (貸付手続)

第19条 美術品の貸付けを受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した美術品借用申請書を館長に提出するものとする。

- (1)美術品の名称
  - (2)借用目的
  - (3)借用期間
  - (4)保存及び管理の方法
  - (5)その他必要な事項
- 2 館長は、前項の申請を適当と認め、美術館の業務に支障がないと認めるときは、これを許可することができる。
  - 3 館長は、美術品の貸付けを行うときは、美術品の損傷等を確認して、引き渡すものとする。
  - 4 館長は、美術品の返還を受けるときは、美術品の損傷等を確認して、受領するものとする。

#### (貸付期間)

第20条 美術品の貸付期間は、2カ月を超えることはできない。ただし、館長が特別の事情があると認めるときは、この期間を延長することができる。

#### (貸付条件)

第21条 美術品を貸付けるときは、次に掲げる条件を付すものとする。

- (1)美術品の貸付期間中の保管は、貸付けを受けた者の責任とする。
- (2)美術品の輸送に要する経費等貸付けに伴う費用は、貸付けを受けた者の負担とする。
- (3)貸付期間中に美術品が亡失し又は損傷した場合には、貸付けを受けた者が賠償の責を負うこと。
- (4)その他館長が必要と認める事項。

#### (美術品の借用)

第22条 館長は、美術館が主催する展覧会等に展示するため、所有者の承諾を得て美術品を借用することができる。

- 2 館長は、借用する美術品を受領するときは、損傷等美術品の状態を確認し、借用証を所有者に提出するとともに借用証原符に必要な事項を記入するものとする。ただし、美術品の所有者が借用証を別に定めるときは、その様式によるものとする。
- 3 館長は、借用した美術品を返還するときは、所有者に美術品の確認を受け借用証の返還を受けるものとする。

#### (借用条件)

第23条 美術品を借用する場合は、原則として次に掲げる条件によるものとする。

- (1)美術品の借用期間中の保管の責任を有する。
  - (2)借用期間中に、美術品を亡失し又は損傷した場合は、その補償をする。ただし、天災その他不可抗力による場合は、この限りではない。
  - (3)借用に基づくすべての経費を負担する。
  - (4)所有者の承認を受けなければ、美術品の所蔵先を公表しない。
  - (5)美術館で発行する展覧会目録に掲載し、若しくは美術館に記録して保管するため又は報道機関に対して資料を提供する場合のほか、所有者の承認を得ないで写真撮影及び複写等を行わないものとする。
- 2 前項に定めるもののほか、所有者が貸与にあたり条件を付した場合は、館長はその条件を遵守するものとする。

#### (その他)

第24条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、館長が別に定める。

#### 附 則

この規則は、2023年(令和5年)3月1日から施行する。

**開館時間** 9：30－17：00 \*入場は16：30まで

**休館日** 月曜日(祝休日の場合は開館)  
年末年始(12月30日～1月1日)  
展示替え期間

**アクセス** 公共交通機関でのアクセス  
広島駅－40分－JR玖波駅－こいこいバス20分－ゆめタウン徒歩5分  
車でのアクセス  
大竹IC－5分

**所在地**  
〒739-0622  
広島県大竹市晴海2丁目10-50  
電話：0827-94-4000  
Fax：0827-94-4100  
URL：https://simose-museum.jp



下瀬美術館年報 2024年度

発行日 2025年12月1日発行

編集・発行 一般財団法人下瀬美術館